

教育委員会の事務の点検及び
評価結果報告書（令和４年度分）

令和５年 12 月
魚津市教育委員会

目 次

教育委員会の事務の点検及び評価について……………	1
--------------------------	---

令和4年度事業に対する学識経験者からの主な意見と取組状況……………	3
-----------------------------------	---

【資料】

令和4年度事務事業説明書

教育総務課……………	1
教育センター……………	6
給食センター……………	9
生涯学習・スポーツ課……………	12
図書館……………	23
埋没林博物館……………	25
水族博物館……………	28
地域協働課……………	33
こども課……………	35

令和4年度各決算に係る主要な施策の成果報告書

施策No.13 学校教育の充実……………	1
施策No.14 生涯学習の推進……………	5
施策No.15 文化芸術・スポーツの振興……………	8

令和4年度 決算の状況

教育委員会の事務の点検及び評価について

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされています。

このことから、魚津市教育委員会では、効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価として施策評価を実施し、その結果について報告・公表するものです。

2 点検・評価の対象

令和4年度に教育委員会が実施した施策

3 点検・評価の結果及び学識経験者の知見の活用

教育委員会では、令和4年度主要施策である次の3施策について運営状況、事務事業の執行状況について自己点検及び評価を行いました。また、学識経験を有する下記の者から、教育委員会の自己点検に対する意見を聞き、本書に記載する。

施 策 名	学識経験者	区分等
①学校教育の充実	宝田 哲 荒井 隆澄	元小学校長 県 P 会長指名副会長
②生涯教育の推進	社会教育委員	委員名簿別記
③文化芸術・スポーツの振興		

4 議会への報告及び公表

点検及び評価に関する結果報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、市のホームページに掲載し公表します。

魚津市社会教育委員名簿

氏 名	所 属 等
鍋島 正茂	魚津市中学校長会 会長
森田 美幸	魚津市小学校長会 会長
本元 義明	魚津市公民館連合会（道下公民館長）
吉田 信義	公益財団法人魚津市体育協会 ありそドーム 係長
尾谷 秀隆	魚津市P T A連合会
小島 真知子	うおづ女性ネットワーク
朝本 靖之	ボーイスカウト魚津第2団
大城 克明	青少年育成魚津市民会議 会長
野澤 良成	魚津市文化協会 顧問
田中 悟	富山県民生涯学習カレッジ新川地区センター所長

目 次

教育委員会の事務の点検及び評価について……………	1
--------------------------	---

令和4年度事業に対する学識経験者からの主な意見と取組状況……………	3
-----------------------------------	---

【資料】

令和4年度事務事業説明書

教育総務課……………	1
教育センター……………	6
給食センター……………	9
生涯学習・スポーツ課……………	12
図書館……………	23
埋没林博物館……………	25
水族博物館……………	28
地域協働課……………	33
こども課……………	35

令和4年度各決算に係る主要な施策の成果報告書

施策No.13 学校教育の充実……………	1
施策No.14 生涯学習の推進……………	5
施策No.15 文化芸術・スポーツの振興……………	8

令和4年度 決算の状況

令和４年度事業に対する学識経験者からの主な意見と取組状況

○ 学校教育の充実

◇ 確かな学力を育む教育の推進

学識経験者意見	取組状況
学習の達成状況は、指標とする学力調査の県平均との比較において、小学校は前年度を下回ったが、中学校は目標値を大きく上回った。小学校での学習は中学校での学習につながる「基礎の学力」となる。「基礎の学力」を安定的に習得させることがその先の学力習得・達成につながると考える。結果に一喜一憂することなく、今後も「学力向上プラン研究事業」や「小中学校教育研究事業」等の取組を中心に、教員研修による力量の向上や授業改善、中学校における放課後学習の充実等、児童生徒の実態に応じた地道な取組、実践が望まれる。	各校で学力調査の結果を分析し、校内研修を通して、授業改善に取り組むとともに、「魚津っ子の学び向上委員会」が中心となって、研修を進めています。今後も実効性のある取組を研究してまいります。 今後は、「学力向上プラン研究事業」や「小中学校教育研究事業」等の取組を充実するとともに、小中の交流や他県との交流研修を実施するなど、教員の資質向上や授業改善につながる取組を推進していきます。
特別な支援を必要とする児童生徒や不登校の児童生徒が年々増えてきており、その対応や支援が急務である。「特別支援スタディメイト」「学習支援員」、また、専科教員の配置や英語教育におけるALT等、各学校の実態に応じた配置の継続や拡充に努めてほしい。	令和５年度においては、学校の実情により、年度途中で「特別支援スタディメイト」を１名増員しました。今後は、特別な支援を必要とする児童生徒の増加に対しては、「特別支援スタディメイト」を２名増員し、十分な支援ができるよう努めていきます。
プログラミング教育の推進事業が実施されたが、より多くの児童生徒の興味関心が掘り起こされるような内容の工夫や今後の展開に期待したい。	各小学校にプログラミングクラブを設置しています。また、中学校では希望者を対象にプログラミング教室を実施し、興味関心をもつ機会としています。今後もコンクール等の開催も含め、児童生徒が興味関心をもつ機会を充実してまいります。

◇ 豊かな心を育む教育の推進

学識経験者意見	取組状況
不登校児童生徒の割合は、小中学校ともに指標の目標値を大きく上回る結果となった。4年度は、新たにSSWを配置され、適応指導教室「すまいる」が、不登校だけでなく特別な支援を要する児童生徒の自立支援に効果を上げており、今後も学校と関係機関が連携し、専門的な指導・相談体制の充実に努めていくことが重要である。	市のSSWに加え、5年度から市のSCを配置し、市の適応指導教室「すまいる」の指導員3名とともに指導体制・相談体制の充実を図っております。また、小学校低学年の不登校が増加していることから、今後は各小学校に校内教育支援センターの設置とその指導員10名程度を配置し、不登校児童の居場所の確保とともに学びの多様化の対応に努めていきます。
ふるさとに対する誇りと愛着心の育成を目指した「魚津市ふるさと教育スタンダードプラン」に基づく「ふるさと発見バス」や「地場産業体験学習」等の成果が表れるのはまだまだ先のことであろうが、何らかの形で検証をしていく必要があると思われる。	ふるさを愛し、誇りをもつことを目的に掲げ、学校や関係者と意思疎通を図りながら、検証方法を含め、よりよい取組等について研究していきたいと考えております。
全国的に活動が縮小傾向にある中、市内100事業所の協力を得て実施された「社会に学ぶ14歳の挑戦事業」は、生徒が勤労の尊さや創造することの喜びを体得し、勤労観・職業観の形成や進路選択決定などに資する重要な教育活動であり、今後も事業の継続、充実に努めてほしい。	「社会に学ぶ14歳の挑戦事業」は、市内の事業所の協力も得ながら、生徒のキャリア形成に寄与する意義ある活動であると考えています。新規受入事業所も増え、たいへん感謝しております。引き続き、事業所の確保に努めていきたいと考えております。
学校司書の配置によって図書の整備や読書環境の充実が図られ、一定の成果を上げてきた。 読書をする習慣の形成に目標を置き、家庭や世代を越えた読書活動の状況分析と方策が望まれる。本に親しむ家庭の雰囲気醸成するような取組等の工夫に期待したい。	児童生徒の図書に対する関心を高め、読書量の増加を目的に、学校図書館の蔵書情報等を電子化しました。これにより児童生徒がタブレット端末等を使って蔵書を検索することができるようになり、読書週間の形成や調べ学習等への興味関心につながるものと期待しています。

◇ 健やかな体を育む教育の推進

学識経験者意見	取組状況
・「第2期魚津市食育推進計画」に基づき、食べ物が無駄にせず、また、児童生徒が食に対する	SDGsの視点も取り入れた「第3期魚津市食育推進計画」を策定し、より計画的

正しい知識を身に付け、食を通して自らが自己管理できるよう計画的な食育の推進が今後も望まれる。食品ロスの観点からSDGsを意識させるような取り組みも試していくのはどうだろうか。	に食育を推進してまいります。また、栄養教諭等を中心とした各校への給食訪問での食育指導など関係機関と連携して食育の推進に引き続き努めてまいります。
---	--

◇ 教育環境の整備・充実

学識経験者意見	取組状況
GIGA スクール構想により児童生徒一人一台のタブレット端末や一教室一台の電子黒板等、学習環境が整備され、ICT 機器の活用率も高くなった。ただ、使用頻度が上がっても学びの目的に応じた活用がされなければ意味がなく、一人一人の情報リテラシーを高めるとともに主体的・対話的な深い学びにつなげる実践に努めることが重要である。	GIGA スクールサポーター 2 名が各学校を 1 週間に 2 回訪問し、機器の不具合や教職員の質問事項に対応する体制を継続しています。市情報研究会では、各校の参考となるように ICT 機器の効果的な活用事例を収集しています。今後もより実効性のある活用について研究してまいりたいと考えています。
情報セキュリティ対策向上のためにホームページシステムの更新が実施されたが、情報発信が停滞している学校が一部見受けられる。教員が情報更新できないのであれば、支援員等の対応も検討する必要がある。	ホームページによる情報発信の在り方については、市情報研究会で現状と課題を情報共有し、支援員等による対応も含めて検討していきたいと考えております。
「魚津市小中学校通学安全プラン」に基づき、対応・対策が講じられているが、命に直接結びつく事業であるため、指摘・要望の挙がった箇所の安全対策については今後も早期対応に努めてほしい。	関係機関の協力を得て、通学路点検を通じて危険個所の早期対応に努めています。また、潜在的な危険個所の発見にも注力し、道路管理者等に働きかけてまいります。
家庭の経済的理由によらず等しく教育を受けることができるよう、就学援助費の支給や新入学学用品費の入学前支給など、小中学校就学援助事業における適切・適正な支援の継続が望まれる。	学校や市福祉部局等の担当者と連携し、支援が必要な家庭には適切なタイミングで適正な支援を実施していきたいと考えております。

○ 生涯学習の推進

◇ 学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上

学識経験者意見	取組状況
・図書館について「学習ニーズの把握につとめる」とあるが、どのようにしているのか？ ・電子図書館の利用状況について教えてほしい。	・一般的にはアンケートをとってということになると思うが、限られた方々の利用であり、市民やボランティアの方も含めた図書館協議会を設置、年に 2 回開催

	し、(市民全体のニーズの把握となると弱い) ご意見をいただいています。 ・図書の貸出冊数についてはコロナ禍による活字離れやスマホ、パソコンにより減ってきている。電子図書館については当初は年間 3,000 冊以上の利用があったが、R4 は年間 1,500 冊。R5 年 7 月にホームページや情報システムを更新し、発信力も強くなり、現在は(コロナ禍前に)戻りつつあります。
・公民館のコミュニティーセンター化については振興会が中心になると思うが、事業の引継ぎや予算等について地域の反応はどうか。	地区の方々と話しながら、R6 年 4 月から全地区でコミュニティーセンター化となります。「公民館」がなくなってしまうことに不安をもっている方もいますが、公民館事業については継続していきます。形としては地区振興会の中に部会をつくってもらい、実施していけるように考えています。組織については各地区で協議中。新しく部会を作る地区が多いが、総務部など既存の部会が引き継ぐ地区もあります。各館に事務員が 2～3 人、館長、主事がいて、事業に携わっていただく。予算については委託、事業費としてそのまま維持していくようにすすめていきます。事業が減ることはない。また公民館連合会にかわる組織として生涯 学習推進協議会を設置。リーダーに出席してもらい情報共有や県の事業、職員研修等を行っていきます。
・コミュニティーセンター化について地域からよく聞くようになったが、変わることはあるのか、ないのか？	「公民館」では社会教育法により利用の制限があったが、それがなくなるので施設利用の自由度がひろがります。例えば地域の野菜の販売や月謝をとっての塾、学習ができるなど。貸出することも可能となり、これまでの利用者にとってはさほど変わらないと考えています。

◇ ふるさとの歴史や文化財の保存・継承・活用

学識経験者意見	取組状況
・（新聞記事にも掲載されていた）松倉城跡の国指定について状況をお聞きしたい。	リストという形で発表があった。歴史的な価値があるということを文化庁も認識したもの。国指定の手続きは、地権者の方々の同意をいただくことが必要。未相続では代をさかのぼることにもなる。地元の方の協力をいただきながら、早期の指定にむけて令和6年に当初予算措置を行っていく予定です。
・ 地元上野方地区の刀踊り継承の話が出ている。少子化が進んでいる今、地元にこだわらず、よつば小学校区全体で取り組むことはできないだろうか。 ・ 伝統芸能の保存には学校と連携して地域コミュニティとどう取り組むかが大切。 ・ 地域単位ではなく、市全体として伝統芸能の継承に取り組む必要があると思う。ただ、簡単なことではないと思う。 ・ 子どもは非常に前向きなので、保護者をいかに巻き込むかが大事。 ・ 子どもの頃一度身に付けた技術や体験、例えば蝶六などは、大人になっても体が覚えている。またやりたいと思う子が多い。	伝統芸能の保存と継承のためには、その地区に根付いたものを大切にしながらも特定の地域にこだわらず、統合した校区全体で担い手になっていけるような取り組みなども検討していくことも必要と考えます。

◇ 博物館の充実

学識経験者意見	取組状況
・ 水族館については、来場者増に向けて開催しているイベントなど感心している。外部評価で来場者が少ないという指摘を受けた。また対話型のイベントについて職員の負担になっていないのか。	外部評価者として、中村元水族館プロデューサーの方にきていただいた。「魚津水族館の規模からすると年間15万人の来場者数は少ない。子どもの率が高く、大人が少ない。大人に来てもらえるようにするべき。大人にお金を使ってもらえるような水族館へ。子ども向けが中心、今後は大人の人にも来てもらえるように。」などの意見。 対話型イベントについてはやろうと思っていた矢先に新型コロナウイルスの影響を受けました。ようやく通常の形で

	きるようになり、これはやっていこうと思っています。ある程度、職員の負担にはなるが、新たな取り組みをやっていく中で、ぜひ取り組みたいことです。なお水族館は施設管理公社 20 人ほどで運営しています。
--	---

○ 芸術文化・スポーツの振興

◇ 芸術文化活動の推進

学識経験者意見	取組状況
・文化ホール事業について、先日新川文化ホールで合唱祭を行った。学校が使える施設としては、最高レベルだと思う。 ・新川地区のみならず、県下でも有数の文化施設で歌えることのありがたさを感じているし、生徒達にもそのように伝えている。 ・文化ホールは日頃の練習の成果を発揮できる場があることは大変ありがたいこと。これからも支援を続けてほしい。	新川文化ホールは、県と市の共同運営施設のため、近隣自治体の文化施設より充実したものとなっております。加えて鑑賞事業などソフト事業もより充実したものになるよう努めております。 今後も成果を発揮できる場として利用していただけるよう予算措置も含めて支援していきたいと考えています。
・「魚津市音楽コーディネーター」(H16 設置、20 年以上継続)を設置して頂いているおかげで、合唱祭の審査、集計の合間のミニコンサートなどプロの指導を仰ぐことができ、子どもの教育に大変プラスになっている。	令和 5 年度も同様に事業を実施しております。次年度以降も引き続き実施できるよう予算措置を行います。
・舞台芸術鑑賞会でも、本物と言われる芸術に触れられる機会を提供して頂きありがたい。自分が受けたものを、次世代に返しましょうという教育を、学校側はやっていくべき。 ・本物の芸術は、理屈ではなく、子どもたちに伝わる何かがあるということを感じた。	令和 5 年度も同様に事業を開催いたしました。次年度以降も開催できるよう予算措置を行います。
・事業評価について（実績値で人数の増減の記載があるが、）そもそも人口減で減っていく一方なので、全体の割合にするなど、見せ方を検討していくべきではないか。	実施した事業がわかりやすく評価できるような項目を検討していきます。
・芸術文化のみならず、SNS 等を利用した情報発信の仕方を考えていくべき。	今後も市の SNS コンテンツとして、公式 LINE やフェイスブック、インスタグラムなどの活用を進めていきます。

◇ スポーツ活動の推進

学識経験者意見	取組状況
スポーツ競技への参加者の底辺拡大や競技力向上を今後も継続して推進していくことが大切であると思うが、中学校では生徒数の減少により単独校によるチーム編成が困難な状況が生じており、普段の活動や対外試合への参加が十分にできないこともある。教員の長時間勤務の緩和や指導経験がない種目の顧問となる負担感の解消のためにも、部活動の地域移行の実施が喫緊の課題であると思われる。中学生が幅広いスポーツの機会を得るとともに、体力や技能の向上を目指すことができるよう、生徒にとって望ましい地域部活動の方向性を今後も検討し続けてもらいたい。	令和５年度からバレーボール、陸上競技で中学校部活動の地域移行の取組が先行して行われています。また、魚津市地域部活動推進協議会を立ち上げ、部活動の地域移行の方向性について、関係団体と協議を進め、環境整備に取り組んでいるところです。 令和６年度からは、国の実証事業を活用して、半数以上の運動競技の種目が実施できるように、実効的な体制整備に努めていきたいと考えています。
中学校の部活動の地域移行について、運動部・文化部それぞれの関係団体等と連携を図って進めていただきありがたく思います。これまでの部活動とどのように違うのかなど小学校も知る機会があるとよい。	部活動の地域移行の進捗状況について、教育委員会のホームページに推進協議会の資料や記録等を掲載するなど、今後も随時情報発信に努めてまいります。また、小学校にも新入生説明会や児童向けプリント等を通じてお知らせしていきたいと考えています。
学校体育施設が有料化され、専門業者による体育館のウレタン塗装が行われるようになった。塗布作業の良質化や教職員の負担軽減の視点からも大いに助かっている。今後も体育館が安全で快適に使用できるよう継続していただきたい。	魚津市学校開放施設（スポーツ）管理計画に基づき、利用者の安全や施設の適正な維持管理の観点から、適切なタイミングでウレタン塗装を実施できるよう今後とも必要な予算の確保に努めます。
プロ野球や車いすバスケットボールの選手との交流は、小中学生が一流のアスリートと実際に触れ合える機会であり、スポーツへの関心・意欲の向上のみならず人としての生き方について考える機会につながると思われる。	今後とも児童生徒が様々なスポーツ体験をすることができる機会を作るよう努めます。
バレーボール、ラグビー、野球などは大きいイベントを取り入れて推進を図ってきているが、現在バドミントン人口が増えている（子供たち）中で今後はバドミントン、テニスのイベントの取入れも視野に入れることも検討してはどうか。	連携協定を締結しているパナソニックスポーツの選手、指導者らによるクリニックを実施していますが、他の種目についても競技団体と連携しながら実施を検討したいと思います。

○ いきいきとしたライフスタイルの実現

◇ 生涯スポーツ・レクリエーションの推進

学識経験者意見	取組状況
室内温水プールの完成は、身近な環境でスポーツに親しむためにも心待ちにしている市民が多数いると思う。利用開始に向けて事業の推進を図るとともに、施設が幅広い年齢層によって有効に活用してもらえるように、工夫ある企画運営をお願いしたい。	令和7年度の供用開始に向けて準備を進めていきます。また、供用開始後の有効活用や企画運営については、今後決定する施設管理者とともに取り組んでいきたいと考えています。
若い時から地域、社会に関わらないと、高齢になってから参加というのは無理があると思います。スポーツも同じ。どの世代でも継続して関わられるような施策が必要だと思います。	体育協会、地区体育振興会、スポーツ推進委員協議会等の関係団体とともに、若い世代の継続した関わりについて取り組んでいきたいと考えています。
健康寿命のための取組について、現在行政、民間それぞれが自分に合ったライフスタイルの運動を取り入れているのが現状だと思いますが、今後は継続に重点を置くことが必要かと思っています。	

令和4年度事務事業説明書

魚津市教育委員会

目 次

教育総務課	1
教育センター	6
給食センター	9
生涯学習・スポーツ課	12
図書館	23
埋没林博物館	25
水族博物館	28
地域協働課	33
こども課	35

教育委員会事務局

《教育総務課》

概要

教育総務課は、総務係及び学校教育係の2係で構成されている。

総務係では、教育委員会会議を11回開催し、41件の議案を審議した。

私学等教育振興事業として、学校法人荒井学園新川高等学校における美術室エアコンの設置に対し500千円を補助した。

経済的な理由によって修学が困難で、かつ、優秀な学生を支援するため、新たに2名の学生に奨学資金を貸与した。また、定住促進事業として、奨学資金を返済している市内在住者6名に返済金の一部補助を行った。

G I G Aスクール構想の推進のため、市内全小・中学校においてタブレット端末を活用した授業や家庭学習を実施したほか、情報セキュリティ対策の向上を図るため、市内小・中学校ホームページシステムの更新を実施した。

さらに学校における感染症対策を強化するために必要となる保健衛生用品等の購入経費を支援する「学校等における感染症対策支援事業」を行った。

魚津市学校規模適正化計画に伴う統合により閉校となった旧上野方小学校の校舎とプールの解体、また清流小学校の駐車場及びスクールバス乗降場整備のため隣接地の購入、建物等の解体を実施した。

学校教育係では、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む教育の実現のため、小中学校新教育課程実践推進事業を継続するとともに各事業を推進した。

小・中学校学習指導要領に基づく教育を実践し、創意ある教育課程を編成するため、市小・中学校教育研究会、学校課題研修等の教員研究組織へ助成を行った。また、「社会に学ぶ14歳の挑戦」事業は、新型コロナウイルス感染対策を十分に行い、例年どおり5日間の活動を実施した。

英語教育では、小学校にA L T（外国語指導助手）を3名配置し、外国語活動の指導の充実を図るとともに、1・2年生に対しても英語に親しむ機会を設けた。中学校にはA L T 2名を継続配置し、外国語科の指導の充実に努めた。

学校司書を市内全小中学校に配置し、読書指導、児童生徒の読書意欲の向上を図った。そして、「第3次魚津市子ども読書活動推進計画」を策定し、図書室の環境整備と子どもの読書活動を推進した。また、生徒の学力向上、学習習慣の定着を目指し、中学校2校で放課後学習サポートを実施した。

豊かな心を育む教育として、命を大切に学習や体験をとおして、命の尊さを学び、児童生徒がお互いに相手を思いやる心を育むため「いのちの教育推進事業」を実施した。また、ふるさとに誇りと愛着をもち、心豊かに生きる子供の育成を目指し、「ふるさと教育スタンダードプラン」に基づき、ふるさと発見バス事業及び地場産業体験事業を実施した。

魚津市教育センター内では、適応指導教室「すまいる」を運営し、新たにスクールソーシャルワーカーを1名配置し、不登校児童生徒の自立に向けた本人への支援や家庭への支援を実施した。

その他、遠距離通学児童の登・下校時の交通手段確保として、よつば小学校、清流小学校及び星の杜小学校のスクールバスの運行を実施した。また、教育の機会均等を図るため、小中学校就学援助事業を実施するとともに、片道6km以上の中学生を対象にバス通学運賃の補助を行った。また、発達障害等、特別な支援を要する児童生徒を支援するために特別支援スタディ・メイトや学習支援員を各小中学校へ配置したほか、部活動指導員を配置し、教員の負担軽減を図った。

総務係

1. 教育委員（令和4年10月1日現在）

職	氏 名	任 期
教育長	山瀬 敬	令和3年4月1日～令和6年3月31日
教育長職務代理	山浦 春美	平成30年10月1日～令和8年9月30日
委 員	伊東 潤一郎	平成29年10月1日～令和7年9月30日
委 員	片山 さゆり	令和元年10月1日～令和5年9月30日
委 員	松本 修治	令和2年10月1日～令和6年9月30日

2. 教育委員会会議の開催 11回

3. 教育委員会会議の開催日及び議決に関する事項

開 催 日	審 議 ・ 議 決 事 項
令和4年4月1日	令和4年度魚津市学校医等の委嘱について
	魚津市学校給食運営委員会委員の委嘱について
	魚津市社会教育委員の委嘱について
	魚津市博物館協議会委員の任命について
	魚津市少年補導センター補導委員の委嘱について
	魚津市音楽開放施設利用事業における管理員の委嘱について
	魚津市学校体育施設等開放事業における管理員の委嘱について
	魚津市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
	魚津市スポーツ推進員の委嘱について
	魚津市公民館長の任命について
	魚津市公民館主事の任命について
	魚津市公民館指導員の任命について
	魚津市公民館書記の任命について
	魚津市公民館運営審議会委員の委嘱について
	魚津市優良公民館職員等表彰について
	魚津市小学校英語教育あり方検討会設置要綱の廃止について
	公営施設使用の個人演説会等の開催のために必要な設備の程度その他の必要な事項についての一部改正について
	公営費用納付額についての一部改正について
	魚津市図書館協議会委員の任命について
令和4年5月10日	魚津市教育委員会表彰等規則に基づく表彰について
	魚津市放課後対策事業運営委員会設置要綱の一部改正について
	魚津市公民館運営審議会委員の委嘱について
令和4年6月2日	報告事項のみ
令和4年7月1日	魚津市就学援助に関する要綱の一部改正について
令和4年8月8日	令和5年度使用小中学校教科用図書採択について
	学校給食費に対する物価高騰対策及び地場産食材活用促進事業補助金交付要綱の制定について
令和4年9月1日	報告事項のみ
令和4年10月4日	魚津市教育委員会表彰等規則に基づく表彰について
	魚津市伝統芸能開催事業支援補助金交付要綱の制定について
	魚津市公民館運営審議会委員の委嘱について
令和4年11月1日	報告事項のみ
令和4年12月2日	教育委員会の事務の点検及び評価結果報告書（令和3年度分）について
令和5年1月16日	魚津市子ども読書活動推進計画の策定について
	魚津市公民館運営審議会委員の委嘱について
令和5年2月27日	魚津市学校規模適正化推進計画の検証について
	魚津市教育委員会が保有する個人情報の保護に関する規則の一部改正について
	魚津市立小中学校教育用コンピュータ管理運用規程の一部改正について
	公営施設使用の個人演説会等の開催のために必要な設備の程度その他の必要な事項についての一部改正について
	公営費用納付額についての一部改正について
	魚津市公民館運営審議会委員の委嘱について
	令和5年度魚津市教育委員会重点施策について

4. 文教施設一覧表（令和4年5月1日現在）

資料：公立学校施設台帳

施設名	保有教室数（室）			建物面積（㎡）				校地面積（㎡）		
	普通	特別	計	校舎	体育館	その他	計	保有	借用	計
大町幼稚園	3	0	3	620	0	0	620	1,520	0	1,520
幼稚園計	3	0	3	620	0	0	620	1,520	0	1,520
星の杜小学校	15	7	22	4,706	710	12	5,428	15,577	0	15,577
よつば小学校	22	8	30	6,338	1,040	129	7,507	15,696	0	15,696
清流小学校	18	7	25	4,362	827	39	5,228	18,939	0	18,939
道下小学校	13	7	20	3,962	784	83	4,829	11,780	0	11,780
経田小学校	8	9	17	3,503	896	38	4,437	9,840	2,850	12,690
小学校計	76	38	114	22,871	4,257	301	27,429	71,832	2,850	74,682
西部中学校	17	18	35	7,194	1,661	567	9,422	4,053	29,014	33,067
東部中学校	16	18	34	7,040	1,267	649	8,956	22,648	2,623	25,271
中学校計	33	36	69	14,234	2,928	1,216	18,378	26,701	31,637	58,338
学校計	109	74	183	37,105	7,185	1,517	45,807	98,533	34,487	133,020

5. 令和4年度奨学資金貸付状況

（単位：人、円）

	継続受給者			新規受給者			受給者計		
	人数	月額	年間貸与額	人数	月額	年間貸与額	人数	月額	年間貸与額
高校生	0	13,000	0	0	13,000	0	0	13,000	0
大学等	8	40,000	3,840,000	2	40,000	960,000	10	40,000	4,800,000
計	8		3,840,000	2		960,000	10		4,800,000

6. 小中学校維持管理、整備事業

(1) 主な工事関係

工 事 名	業者名	契約金額	契約年月日	完成年月日
旧上野方小学校解体工事	㈱東城	127,431,700	令和4年7月19日	令和5年1月31日
旧上野方小学校内魚津市防災行政無線移設工事	日本海電業㈱魚津支社	2,413,400	令和4年9月21日	令和5年2月1日
清流小学校隣接地建物等解体工事	朝野工業㈱	32,010,000	令和4年7月25日	令和4年10月27日
東部中学校屋外キューピクル更新工事（令和5年度へ繰越）	吉崎電設㈱	12,650,000	令和5年3月30日	
計	4件	174,505,100		

(2) 主な委託関係

業務名	業者名	契約金額	契約年月日	完成年月日
魚津市GIGAスクールサポーター業務	㈱インテック	21,780,000	令和4年4月1日	令和5年3月31日
魚津市立学校ホームページシステム構築業務 小学校分	㈱システムデイ	4,987,601	令和4年12月28日	令和5年3月31日
魚津市立学校ホームページシステム構築業務 中学校分	㈱システムデイ	1,995,040	令和4年12月28日	令和5年3月31日
計	3件	28,762,641		

(3) 備品購入関係 該当なし。

学校教育係

1. 小・中学校児童生徒等（令和4年5月1日現在）

施設名	校長氏名	学級数 (うち特別支援 学級数)	教職員数 (人)	児童・生徒数 (人)						
				1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	計
星の杜小学校	三田 祐輔	15 (3)	25	47	46	44	47	48	48	280
よつば小学校	水橋 渉	22 (4)	36	73	91	88	96	96	96	540
清流小学校	鹿熊 康成	18 (3)	28	77	64	82	77	68	66	434
道下小学校	弥生 陽子	13 (2)	22	36	40	47	35	49	44	251
経田小学校	土開 晴美	8 (2)	17	17	29	18	21	32	29	146
小 学 校 計		76 (14)	128	250	270	279	276	293	283	1,651
西部中学校	上坂 一弘	17 (3)	38	152	166	164				482
東部中学校	上田 靖	16 (3)	35	154	143	165				462
中 学 校 計		33 (6)	73	306	309	329				944
学校計		109 (20)	201	556	579	608	276	293	283	2,595

2. 令和4年度就学援助費一覧

(単位：円)

	人数 (人)	学用品費・ 通学用品費	給食費	体育実技費	校外活動費	新入学用品費	修学旅行費	遠距離 通学費	計
小学校	90	1,005,459	4,425,886	0	191,442	675,720	49,774	0	6,348,281
中学校	65	1,396,856	3,542,578	24,600	151,200	1,200,000	1,035,470	216,445	7,567,149
計	155	2,402,315	7,968,464	24,600	342,642	1,875,720	1,085,244	216,445	13,915,430

3. 令和4年度各種学習支援員等配置状況

(単位：人)

学校名	特別支援 スタディメイト	学習支援員	ALT	学校司書
星の杜小学校	4	0	3	1
よつば小学校	3	3		1
清流小学校	4	1		1
道下小学校	1	3		1
経田小学校	3	0		1
西部中学校	1	1	1	1
東部中学校	2	0	1	1
合 計(実人数)	18	8	5	7

《教育センター》

概要

今日的な教育課題や教職員のニーズに対応する研修事業を行い、教員の資質及び指導力の向上を図った。児童生徒の学力向上に向けては、教員に研修の場を提供するとともに、学力調査等の分析結果の活用や各校の取組の交流を推進した。児童生徒の健全育成に向けては、心の教育を推進し、生徒指導の体制づくり、教育相談、ふろさと学習等の充実に努めた。

また、高度な情報社会に対応するために、「GIGAスクール構想」及び「魚津市教育情報化整備基本計画」に基づき、市情報教育研究会と連携し、教員のICT活用指導力向上のための研修会を開催するとともに、児童生徒の発達段階に応じた情報モラル教育の推進を図った。

1. 研修事業

(1) 現地研修

- ・理科教育講座（自然観察）入門コース（富山県総合教育センター協業）（黒部市内）
- ・郷土研修会（魚津市教育センター）

【指導者：魚津市立埋没林博物館 館長 石須 秀知、学芸員 佐藤 真樹】

(2) 教育課程研修

- ・魚津市とやま型学力向上プログラム研修会

演題『「主体的・対話的で深い学び」を実現する学級経営』

【講師：上越教育大学 教職大学院 教授 赤坂 真二】

- ・魚津市「学力向上講演会」

演題『本当の学力をあげたければ』

【講師：上越教育大学教職大学院 教授 西川 純】

演題『「主体的・対話的で深い学びの実現にむけて」～令和の日本型学校教育の構築を踏まえて～』

【講師：國學院大学 人間開発学部 初等教育学科 教授 田村 学】

(3) 領域研修

- ・学級経営に関する講演会（魚津地区教育センター協業事業）

演題『学級力向上プロジェクトのすすめー学級づくりに子供たちの力をー』

【講師：早稲田大学 教職大学院 教授 田中 博之】

- ・生徒指導に関する講演会（魚津地区教育センター協業事業）

演題『荒れの未然防止の視点と対応の立て直し』

【講師：生徒指導コンサルタント 吉田 順】

- ・道徳に関する講演会（魚津地区教育センター協業事業）

演題『令和時代に求められる道徳教育と道徳科の指導』

【講師：東京学芸大学 特任教授 永田 繁雄】

- ・生徒指導研修会（5回）

演題『発達障害の理解とその対応』

【講師：富山県発達障害者支援センター「ほっぷ」 副センター長 北川 忠】

- ・特別支援教育研修会（4回）

演題『通常の学級で特別な支援を要する児童生徒への合理的配慮について～個別の教育支援計画に生かすために～』 【講師：東部教育事務所 特別支援教育指導員 梅村 佳絵】

・情報教育研修会（４回）

・ＩＣＴ活用研修会 「Teamsの活用の仕方について」

【講師：富山県総合教育センター科学情報部

主任研究主事 藤田 稔 研究主事 大永 誠】

・プログラミング教育研修会 『小６理科教材「MESH」、タブレットを利用した実習』

【講師：株式会社ベネッセコーポレーション ＩＣＴサポートリーダー 木谷 智美】

・若手教員研修（３回）

第１回 テーマ『自己開示しよう』 ～学級経営・教科指導・生徒指導等について～

【講師：魚津市教育センター 指導主事 高島 紘司】

第２回 テーマ『子供といっしょに苦しめますか』～児童生徒理解とその対応について～

【講師：富山県総合教育センター教育相談部 客員研究主事 舘野 智子、研究主事 米澤 利子】

第３回 テーマ『子供といっしょに揺れられますか』～個を育むための集団づくり～

【講師：富山県総合教育センター教育相談部 客員研究主事 舘野 智子、研究主事 米澤 利子】

(4) 学校管理研修

・中堅教員研修 実施なし。

2. 生徒指導と教育相談の支援事業

・生徒指導協議会との連携・・・生徒指導協議会５回開催

・生徒指導啓発資料の作成・配布

・相談電話への対応

・不審者情報の把握と各方面への早期発信

・不登校、問題行動等への関係機関との連携を含めた指導・援助

・魚津市適応指導教室「すまいる」の運営及び関係機関との連携

(1) 「すまいる」通所人数 （単位：回、人）

通所回数	小学生	中学生
80～89	1	0
70～79	4	1
60～69	2	0
50～59	0	0
40～49	2	0
30～39	1	1
20～29	0	3
10～19	1	3
1～9	20	6
合計	31	14
延人数	710	254

(2) 相談件数 （単位：件）

来所相談	電話相談
178	488

(3) 新規通所人数

(単位：人)

小学校	男	女	合計
1年生	1	3	4
2年生	0	0	0
3年生	3	0	3
4年生	0	4	4
5年生	1	4	5
6年生	3	1	4
合計	8	12	20

中学校	男	女	合計
1年生	1	1	2
2年生	1	1	2
3年生	1	0	1
合計	3	2	5

3. その他の事業

- ・ 魚津市小・中学校科学展覧会の開催
- ・ 魚津地区理科自由研究・発明くふう参考展（魚津地区教育センター協業事業）
- ・ 視聴覚ライブラリーの管理・運営
- ・ 学習指導案のデータベース化とその活用のための環境整備
- ・ 教科書センターの管理・運営（教科書展示会の開催）
- ・ 教育図書、教材、資料等の貸し出し
- ・ 「魚津市子ども会議」の企画・運営協力
- ・ 「中学生タウンミーティング」の企画・運営
- ・ 特別支援教育研究協力委員会との連携及び研修会の企画・運営

《学校給食センター》

概要

学校給食センターでは、市内の中学校2校、小学校5校、幼稚園1園に学校給食を調理・配送し、主食は週当たり米飯3.5回、パン（麺）1.5回の実施をしている。

栄養教諭による給食指導や残食調査、学校給食主任との打ち合わせにより児童生徒の食事実態、食べ物の嗜好の把握に努め、調和の取れた食生活を実践する給食献立の作成を行った。地場産物・郷土料理・行事食等を取り入れ、地域に対する理解とふるさとの味への関心を深めるように配慮するとともに、給食をより楽しくするために、セレクト給食、卒業お祝特別給食等を実施し、食事内容の多様化に努めた。

食物アレルギー対応について、平成29年度に策定した「魚津市学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき実施した。食物アレルギーをもつ児童生徒に対応するため、保護者面談等を実施し、除去食や代替食の提供を行った。

学校給食への理解を深めるために実施してきた保護者の試食会は、新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から中止したが、学校給食センターから栄養教諭、職員が各学校に出向き、会食を通じて栄養指導を行う「学校給食訪問」は42回実施した。令和元年を最後に中止していた学校給食センター体験見学会を実施した。また、教育総務課と連携し、市内小学2年生を対象に「ふるさと発見バス」の受け入れを実施した。

令和4年5月30日（月）に学校給食運営委員会を開催し、同年度の給食費等を決定した。また、令和5年1月25日（水）の物資選定委員会において、次年度使用の学校給食物資について選定を行った。

給食係

1. 施設の概要

- ・位置 魚津市川縁262番地
- ・建物面積 1,743㎡
- ・敷地面積 5,096㎡

2. 学校給食実施状況

（単位：日、食、本、円）

学 校 名		完全給食日数	完全給食延食数	牛乳欠食延本数	年間給食費
中 学 校	西部中学校	193	94,993	915	30,914,053
	東部中学校	192	91,669	432	29,848,188
	小計	385	186,662	1,347	60,762,241
小 学 校	星の杜小学校	192	56,243	744	15,591,878
	よつば小学校	192	106,746	2,297	29,512,384
	清流小学校	193	88,086	384	24,459,917
	道下小学校	192	50,468	347	14,001,389
	経田小学校	193	30,798	529	8,525,986
	小計	962	332,341	4,301	92,091,554
大町幼稚園		182	4,559		649,673
学校給食センター		197	1,401	2	389,360
㈱東洋食品		197	3,936	0	1,094,208
試食会（小学校）		0	0	0	0
試食会（中学校）		0	0	0	0
その他試食会等		0	0	0	0
合計		1,923	528,899	5,650	154,987,036

3. 給食費

(単位：円)

区分	月額（11か月平均） 給食費	完全給食1食当たりの給食費					
		主食費		副食費		牛乳代	
中学校	5,809	4～5月	70	4～5月	199	4～5月	57
		6～3月	70	6～3月	197	6～3月	59
小学校	4,953	4～5月	59	4～5月	162	4～5月	57
		6～3月	59	6～3月	160	6～3月	59
幼稚園	2,487			4～3月	144		

4. 学校給食の残食率

(単位：%)

	中学校	小学校		みそ汁、カレー、焼きそば等(汁)	肉、魚等 (主菜)	サラダ、和え物等 (副菜)	全体
小・中学校別 残食率 ※率平均	3.16 (3.25)	5.56 (3.92)	年間の残食量/ 年間の供給量	5.0 (3.9)	3.3 (2.3)	6.3 (5.5)	4.9 (3.9)

※（ ）内は、令和3年度の値

5. 栄養管理

脂肪・塩分の過剰摂取にならないようにし、不足しがちなカルシウム・鉄分・ビタミンCなどの栄養素の摂取に配慮した。また、食品の種類を幅広く求めバランスのとれた食事内容となるよう努めた。

6. 衛生管理

食中毒の発生防止を重点事項とし、温度管理の徹底や有害物や異物を食物に付着混入させないための、食品の選択・購入・保管・調理・配送に十分注意を払った。

7. 栄養教諭による食育指導・講師派遣等

小中学校での授業実施・・・・・・・・・・15回

P T A等での講師・・・・・・・・・・6回

給食時の指導・・・・・・・・・・中学校4回、小学校36回、幼稚園2回

8. 職員の研修

富山県新川厚生センター魚津支所から資料提供を受け、紙面開催による研修会とし、衛生管理の徹底と資質の向上を図った。

9. 施設設備・物品の更新等

(1) 消耗品系

(単位：個、円)

名称	個数	金額	名称	個数	金額	名称	個数	金額
深皿	150	132,825	ボール	200	180,180	菜皿	250	229,075
トレイ	100	118,030	食缶類	4	62,700	しゃもじ	100	24,640
トレイカゴ	10	74,800	はし箸	14	192,500			

(2) 備品系

(単位：個、円)

名称	個数	金額
スポットエアコン	1	178,200
調理場用洗濯機	1	29,480
ゴミステーション	1	400,400

10. 業務委託

(単位：円)

業 務 名	業者名	支払金額	期間
学校給食調理・洗浄等業務	㈱東洋食品	63,250,000	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日
学校給食配送業務	魚津交通㈱	12,733,920	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日
100万円未満の業務	10件	1,797,297	
計	12件	77,781,217	

《生涯学習・スポーツ課》

概要

生涯学習・スポーツ課は、生涯学習・文化係、スポーツ係及び市史編纂室の2係1室で構成されている。

生涯学習・文化係は、生涯学習推進のため、学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上、ふるさとの歴史や文化財等の保存・継承・活用、博物館の充実に取り組んだ。また、芸術文化振興のため、多くの市民が芸術文化活動に参加し、うるおいと活力を感じられるまちづくりを進める取組を行った。

青少年教育では、関係団体の育成強化に努めるとともに、青少年健全育成事業に取り組んだ。

家庭教育では、子どもの健やかな成長を助けるために心の教育の推進や家庭教育力の向上を図った。

芸術文化関係では、市文化協会、市美術協会等の文化団体の支援、市民文化祭、市美術展等、市民レベルでの芸術文化活動の活性化を図った。

文化財関係では、文化財を保存・活用し、次世代に引き継ぐための施策を行った。

博物館関係では、市歴史民俗博物館を管理運営するとともに、企画展の開催、「ふるさと教育」等を実施し、郷土の歴史や文化財に関する普及啓発活動を行った。

市史編纂室は、『魚津市史自然編』の一般頒布を継続して行った。また、『魚津市史民俗編』の刊行に向けての目次検討等の事前作業を行った。

スポーツ係は、「スポーツでつなごう きとときと魚津のまちづくり」を基本目標に、各種スポーツ団体と連携し、スポーツ大会、イベント、教室等を開催するとともに、住民の身近なスポーツ施設である学校施設を開放し、地域のスポーツ振興を図った。

スポーツ大会やイベントは、新型コロナウイルス感染対策を実施しながら概ね予定どおり実施した。しんきろうマラソン及び全日本大学女子野球選手権大会は3年ぶりの開催となった。また、市制施行70周年記念事業として、山本隆弘氏トークショー（ありそドームアリーナ大規模改修記念）、高校野球強化交流試合（招待校 大阪桐蔭高校）、宝くじスポーツフェアドリームベースボール、女子軟式野球ジャパンカップ、U0!SP0! eスポーツフェスタ2022等の事業を実施した。

スポーツコミッション事業では、パナソニックスポーツとの連携事業として、ラグビー、パレーボール、野球の選手や指導者によるスポーツクリニックの開催及びホームゲームにおける出向宣伝を実施したほか、オリジナルスポーツ弁当の開発などスポーツを通じた地域活性化を目指した取組を行った。

スポーツ施設においては、利用者が安心して施設を利用できるよう、計画的な設備更新及び破損箇所の迅速な修繕に努めるとともに、令和3年度から有料化した学校体育施設の使用料収入を活用し、体育館フロアのウレタン塗装を実施した。

室内温水プールの建替えについては、令和3年度に策定した「（仮称）魚津市室内温水プール整備基本計画」をもとに、プロポーザルにより委託事業者を選定し、設計業務を行った。

生涯学習・文化係

1. 社会教育委員

社会教育委員会議を令和4年10月25日（火）に開催し、社会教育関係事業に対する意見を求めた。

社会教育委員：上坂一弘氏（市中学校長会）、三田祐輔氏（市小学校長会）、本元義明氏（市公民館連合会）、吉田信義氏（市体育協会）、関口謙一氏（市PTA連合会）、小畠真知子氏（市連合婦人会）、朝本靖之氏（ボーイスカウト魚津第2団）、大城克明氏（青少年育成魚津市民会議）、野澤良成氏、高島由順氏（以上2名は学識経験者）

2. 社会教育指導員

社会教育指導員（担当分野：生涯学習振興事業、児童交流事業、二十歳のつどい事業）により、市内の生涯

学習教室等の開催状況を把握するとともに各分野の指導と事業の振興に努めた。

3. 各種事業

(1) 青少年教育

子ども達の自主性及び社会性を養い青少年の健全育成を図るため、市内社会教育団体や地域と連携し、街頭活動や講演会等開催した。

子ども・若者育成支援強調月間に合わせ、特別研修会「医師から見た子どものネット依存」（講師：山田正明氏 富山大学医学部 疫学健康政策学准教授）を令和4年12月1日（木）に開催した。（参加者数41名）

(2) 女性教育

女性の社会参画促進のために、各地区婦人会などで構成される市連合婦人会主催の研修やセミナーの開催等の活動を支援した。

(3) 家庭教育

心豊かな子どもを育成するため、親の関わり、地域社会の関わり等、体系的な学習を通し家庭教育の充実を図った。

- ・各小学校の就学時健診等を利用して子育て講演会の開催（小学校5校で実施）
- ・親が子育てについてともに学び、考える機会を設ける親学び講座の開催（幼稚園・保育園等2園、小・中学校3校、市PTA連合会研修会で2回実施）

(4) 高齢者教育

高齢者人材活用事業を行い、各地区の高齢者学級に人材活用登録者を派遣した。（実績2回）

(5) 生涯学習教室、生涯学習講座等

生涯学習教室の修了生でつくる友の会では、20教室239名が学びの輪を広げた。また、生涯学習講座（文化財講座）として、松倉城跡を見学するバスツアーを令和4年11月20日（日）に開催した（参加者数19名）。

- ・第11回 魚津市生涯学習フェスティバル

令和5年3月19日（日）新川学びの森天神山交流館において、市内各地区で活動しているサークルや友の会等による作品展示やステージ発表を行った。

(6) 第37回井原市友好親善都市児童交流事業

魚津市の児童代表が友好親善都市岡山県井原市に訪問する予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のためオンラインによる交流を令和4年8月20日（土）に実施した（参加者数：魚津市児童20名、引率教諭2名、井原市児童5名）。

(7) 二十歳のつどい（旧成人式）

民法改正により、成年年齢が20歳から18歳に引き下げとなったが、本市では令和4年度以降もこれまで通り20歳を対象に「二十歳のつどい」（はたちのつどい）として式典を開催することとした。

20歳の有志による実行委員会が、企画から運営までを担当し、新成人の意見を取り入れた手作り感覚の式典を令和5年1月8日（日）に新川文化ホール大ホールにて実施した。当日は、20歳対象者418名のうち319名が出席した。

4. 社会教育団体等の活動

(1) 魚津市連合婦人会

「安心・安全な地域創造に努めようー地域に根ざした活動をー」をスローガンに、東部地区別研修会への参加、婦人会だよりの発行等を実施した。

(2) 青少年育成魚津市民会議

「広げよう、青少年をはぐくむネットワーク」をスローガンに、夏の青少年の非行・被害防止に取り組む運動、環境浄化活動、広報啓発活動（街頭キャンペーン、広報紙「あたたか通信」の発行）、有害環境立入調査等を実施し、市内青少年の健全育成に努めた。

(3) 魚津市PTA連合会

「すべては子どもたちの幸せな未来のために～今こそ集い、共に学び、行動しよう～」をスローガンに、会員の意識向上と人材の育成を図り、学校・家庭・地域社会との連携を密にし、子どもの健全育成の推進、教育環境の改善、魅力あるPTAの推進等の事業実施を支援した。令和4年12月1日（木）に、市教育委員会と市PTA連合会会長等役員らと会の活動や校下毎のPTA活動等に関する要望について意見交換を行った。

5. 魚津市民文化祭・魚津市美術展

魚津市文化協会及び魚津市美術協会と共催し、市民の芸術文化の発表及び意識啓発に努めた。

部 門		会 期	出 品 人 数 等					
魚津市民文化祭	芸能の部	令和4年10月22日（土）、23日（日）	出演団体 一般13団体、東部中学校、道下小学校					
	華道の部		4団体 62人					
	文芸の部		俳句24人					
	美術の部		美術48人、食文化3人					
	教育の部		小学校（5校）、中学校（2校）					
	茶道の部		3団体					
魚津市美術展		令和4年11月3日（木祝）～11月7日（月）	区分	絵画	書	彫刻・工芸	写真	計/点
			一般	28	29	27	49	133
			招待	9	16	12	6	43

6. 各団体の活動

(1) 魚津市文化協会

魚津市民文化祭の主催をはじめ、各種行事の共催、後援等を通じ、傘下団体の連携と育成を図り、市民レベルでの芸術文化意識の高揚に努めた。第42号魚津市文化協会だよりを発行した。

(2) 魚津市美術協会（平成30年4月1日より魚津市美術文化協議会から名称変更）

魚津市美術展を共催し、市民の美術への関心と会員の創作意欲を高める活動を行った。

(3) 魚津たてもん保存会

新型コロナウイルス感染症対策を徹底して令和4年8月5日（金）、6日（土）にたてもん祭り開催を決定。初日は3年ぶりに開催できたが、翌日は雨天により中止となった。

(4) 魚津歴史同好会

定例の研修会及びふるさと歴史講座を実施するとともに、魚津史談45号を刊行した。

(5) 魚津市布施谷節保存会

魚津市に古くから伝わる代表的な民謡の伝承保存に努めた。

(6) 鹿熊刀踊り保存会

古くから地区青年団が伝承に努めており、保存会としてさらに伝承活動を行った。

(7) 魚津せり込み蝶六保存会

古くより伝承されてきた、民謡、踊りの伝承と普及啓発活動に努めた。

7. 文化財の保護顕彰

(1) 文化財保存事業

市が所蔵する稀少資料（書籍・古文書）、文化財、行事等を記録したフィルム等の劣化が懸念される資料のデジタル化を実施した。また、市制施行70周年記念事業のひとつとして米騒動から100年を迎えた年に制作されたドキュメンタリー映画「百年の蔵」の上映会を2会場にて各2回ずつ開催。（令和4年7月18日（月・祝）新川文化ホール：参加者65名、令和4年7月23日（土）市立図書館：参加者21名）

最初の植樹から6年目を迎える「たてもんの森」で親子を対象にしたふれあいイベント（たてもんオブジェ作りと草刈り）を令和4年5月21日（土）に開催した。（参加者数18名）

たてもん協力隊は、新型コロナウイルス感染症の影響により、募集規模を縮小して3年ぶりに実施。2日間

で延べ108名の応募があったが、2日目は雨のため中止となった。

(2) 遺跡調査事業

松倉城郭群の重要な構成要素である「升方城跡」にある石積遺構の地形測量調査を実施した。

8. 博物館の充実

(1) 博物館協議会

博物館協議会を令和5年3月3日（金）に開催した。市内3館の事業報告や事業計画について、各委員から意見、助言等を受けた。

博物館協議会委員：竹内章氏（富山大学名誉教授）、濱住博之氏（魚津漁業協同組合組合長）、本元義明氏（魚津歴史同好会会長）、上野恭子氏（魚津観光ボランティアじゃんとこい）、山崎裕治氏（富山大学大学院理工学研究部准教授）、吉井亮一氏（富山県立山博物館主任専門員）、三田祐輔氏（市小学校長会会長）

9. 魚津歴史民俗博物館

(1) 企画展示

「魚津城と松倉城」展

期間 令和4年6月17日（金）～10月2日（日）

(2) 博物館教室

火おこしコースと勾玉づくりコースを8月に9回開催した。（参加者数：78名）

(3) 企画展見学会

市内全小学校6年生を対象に、企画展の見学会を令和4年6月～11月に実施した。（全5校、297名）

(4) 入場者数

（単位：人）

区 分	大人	小・中学生	計
個 人	2,897	286	3,183
団 体	579	313	892
計	3,476	599	4,075

(5) その他

歴史民俗資料館の解体工事に伴う諸作業のため、令和4年8月22日（月）より臨時休館となるため、8月11日（木・祝）と13日（土）に資料館の展示や施設の歴史などについての解説会を開催した。

歴史民俗資料館の解体準備として、博物館収蔵品資料整理・データベース作成を行った。また、資料館収蔵品については、旧魚津市農協会館を仮収蔵場所とし、資料の運搬を行った。

10. 新川文化ホール

平成18年度から（公財）富山県文化振興財団を指定管理者とし、施設の管理運営及び自主企画事業を実施した。

指定管理期間 平成31年4月1日から令和6年3月31日まで

指定管理料 377,771千円（5か年間総額） 74,078,752円（令和4年度額）

(1) 自主企画事業

- ・鑑賞事業 スターダスト☆レビューライブツアー、森高千里ツアー、立川談春独演会、Novelbrightライブツアー、NHK公開番組「テレドーも！」公開収録、航空自衛隊航空中央音楽隊魚津公演、山中千尋トリオ・ツアー、松山千尋コンサート、新川シネマプラスほとり座select
- ・参加事業 ミュージカルカンパニーW0Z記念公演、かづみ野音楽祭、新川コーラスフェスティバル、ミラージュ・カルチャーフェスタ、マーチング合同公演、パレエパフォーマンス新川
- ・普及育成事業 学びの森音楽祭、音の宇宙（そら）vol.10、コンサートピアノオープンday、ミュージックランチ スペシャルコンサート ほか

・展示事業 魚津市民文化祭、北日本いけばな展、美術連合展巡回展 ほか

(単位：人)

区分	事業数	参加入場者数
鑑賞事業	9	6,875
参加事業	6	5,195
普及育成事業	8	2,769
展示事業	4	9,020
出前事業	0	0
自主事業	0	0
計	27	23,859

(2) 小・中学生鑑賞事業

優れた芸術文化に対し、より親しみと関心を深めてもらうとともに、子ども達の豊かな感性や情操の育成の一助として、団体鑑賞会を実施した。

小学生舞台芸術鑑賞会では、令和4年6月15日(木)に第4回とやま世界こども舞台芸術祭のプレ公演のジャック・リー・ランダル氏による影絵パフォーマンスと富山県洋舞協会による華麗なダンスパフォーマンスが披露された。中学生舞台芸術鑑賞会では「江戸糸あやつり人形結城座」による人形浄瑠璃が令和4年10月31日(月)に実施された。

(3) 年間利用状況

(単位：日、件、円)

	日数	催事件数	利用料金		日数	催事件数	利用料金
大ホール	148		12,061,067	展示ホール	202		6,724,815
小ホール	152		2,984,884	会議室(7室)		2,051	8,299,810
リハーサル室	162		1,424,775	和室(3室)		375	1,014,820
練習室(3室)	690		1,881,965	イベント広場	21		140,990
音楽室(2室)	259		536,450	付属設備			1,367,490
付属設備			10,723,530	合計			47,160,596

11. 新川学びの森天神山交流館(交流館活性化事業)

4月より防災備蓄倉庫を除いた施設全体を株式会社IMFへ無償貸し付けを行い、そのうち宿泊棟と体育館を除いた本館棟と音楽棟は、「一般社団法人 いしかわ学びの森みらい会議」による運営となった。生涯学習の推進や芸術文化の振興など長年にわたり育んできた芸術文化の芽を継承するため、音楽事業や交流館周辺のにぎわいを創出するための各種事業の実施にあたって、人的・財政的支援を行った。また施設管理に係る支援なども実施した。

交流館の利活用に関わる事業者と定期的(毎月1回)に意見交換会を開催し、運営に関わる課題や要望などについての情報共有と課題解決を図ってきた。

12. 音楽のまちづくり推進事業

市の音楽文化の振興を図るため、新川学びの森天神山交流館を拠点とし、各種事業を実施した。

- ・音楽コーディネーターの設置派遣
- ・市内施設等での出前コンサート
- ・市民のためのクラシック講座
- ・幼児・小中学生など若い世代のためのコンサート及び小中学生のための合奏・合唱指導
- ・学びの森音楽祭の開催(管楽器・ピアノ・声楽講習会、コンサート)
- ・とやま室内楽フェスティバル事業の支援

市史編集室

1. 市史編集事業

『民俗編』編纂のため、目次案の作成を行い、富山民俗の会幹事等の民俗学研究者に今後の民俗調査の進め方についての指導、助言等を受けた。また、市史の頒布は、『自然編』、『図説魚津の歴史』、『続巻 現代編』を市役所、市教育委員会、市図書館、市水族館、市埋没林博物館、市歴史民俗博物館において実施した。

スポーツ係

1. 魚津市スポーツ推進審議会の開催

(1) 審議会委員氏名

役職	氏 名	所属団体名等
会長	石 川 道 範	魚津市学校体育施設開放管理指導員連絡協議会 会長
副会長	河 崎 忠 行	魚津市スポーツ少年団 本部長
委員	木 下 眞	魚津市公民館連合会
委員	宮 川 良 輔	公益財団法人魚津市体育協会 副会長
委員	宮 口 隆 志	魚津市スポーツ推進委員協議会 会長
委員	鹿 熊 康 成	魚津市小学校体育連盟会長
委員	上 田 靖	魚津市中学校体育連盟会長
委員	小笠原 裕 子	魚津市バレーボール協会 副理事長
委員	荒 川 美知子	魚津市連合婦人会 理事
委員	川 西 千津子	魚津市女性スポーツの会 会長

(2) 開催日 令和4年9月29日（木）、令和5年3月30日（木）

(3) 協議事項

令和4年9月29日（木）

- ・スポーツ施策等に対する意見について
- ・魚津市スポーツ振興計画の改訂について
- ・魚津市室内温水プールの整備について

令和5年3月30日（木）

- ・令和4年度生涯学習・スポーツ課スポーツ係事業報告について
- ・令和5年度生涯学習・スポーツ課スポーツ係重点施策について
- ・魚津市室内温水プール整備について

2. 各種スポーツ大会・イベントの開催

(1) 主催・共催・参加事業

実施期間	事 業 名	参加数	会 場	
R4	4/23	第42回魚津しんきろうマラソン	2,671名	ありそドーム発着点
	5/8～	第71回魚津市民体育大会	2,336名	市内各施設
	7/9～	第60回富山県中学校総合選手権大会	464名	ありそドーム
	中止	2022プールフェスタ	—	室内温水プール
	7/31	宝くじスポーツフェア ドリームベースボール	150名	桃山運動公園野球場
	8/26～30	第36回全日本大学女子野球選手権大会	264名	桃山運動公園野球場 天神山野球場
	10/10	2022うおづスポーツレクリエーション祭	122名	ありそドーム
	10/29	第20回魚津カップジュニア駅伝大会	202名	ありそドーム発着点
	12/4	第2回ミラたんカップ魚津市ボッチャ大会	75名	ありそドーム
	12/4	UO!SP0eスポーツフェスタ2022inねっこランド	76名	埋没林博物館
R5	1/14	令和4年度魚津市スポーツ講習会	100名	ありそドーム
	中止	第17回桃山雪まつり	—	桃山運動公園
	2/5	第71回魚津市民体育大会（スキー競技会）	75名	シャルマン火打スキー場
	2/23	第21回ユニホック交流大会	79名	ありそドーム

(2) 各種スポーツ大会・教室の開催（（公財）魚津市体育協会ほか開催団体へ大会開催に対し助成）

実施期間	事業名	参加数	会場
R4	4/2、3	第58回二市一郡中学校軟式野球大会	150名 桃山野球場、天神山野球場
	4/29	第40回市民ゴルフ大会	300名 魚津国際カントリークラブ
	4/30	2022UOZU中学生バレーボール交流会	300名 ありそドーム
	5/4～5	第28回UOZUミラージュカップサッカー大会（小学生）	100名 桃山運動公園
	5/29	第49回魚津市剣道大会	60名 旧大町小学校体育館
	6/4、5	高校野球強化交流試合	200名 桃山運動公園
	6/8～7/27	第48回魚津市長杯軟式野球大会	600名 桃山運動公園
	7/10	第72回魚津ラグビー祭兼市民体育大会	100名 桃山運動公園
	7/16	第12回魚津カップジュニアソフトボール交流大会	80名 天神山野球場
	7/17	第39回ミラージュカップテニス大会	200名 桃山運動公園
	8/20	2022年度魚津市長杯パークゴルフ大会	150名 早月川パークゴルフ場
	9/4～17	第47回魚津市民ソフトボール大会	150名 天神山野球場 早月川緑地グラウンド
	10/8、9	第15回魚津しんきろう杯小学生バレーボール交流会	150名 ありそドーム
	10/16	第39回魚津市民弓道大会	20名 魚津市弓道場
	10/29	第20回魚津カップジュニア駅伝競走大会	202名 ありそドーム発着
	10/30	第58回魚津ラージボールオープン卓球大会	120名 ありそドーム
	11/3	第24回魚津市学童ティーボール大会	120名 天神山野球場
	11/6	2021UOZUミラージュカップサッカー大会（一般）	100名 桃山運動公園
	11/26	第3回かあちゃんたちの米騒動バレーボール交流大会	150名 ありそドーム
	中止	第45回魚津市柔道大会	—
R5	1/21、28	2022年度魚津ジュニアスキースクール	100名 立山山麓スキー場
	2/26	第37回魚津市ビーチボール選手権大会	180名 西部中学校体育館
	2/26	第37回魚津市フレッシュテニス選手権大会	100名 東部中学校体育館
	3/5	第46回魚津市民バドミントン大会	195名 ありそドーム

3. スポーツ振興事業

(1) 市民スポーツ振興

・うおづスポーツ・レクリエーション事業

魚津市スポーツ推進委員協議会に委託し、UO!SPO事業（生涯スポーツサポート事業）をはじめ各種スポーツイベントを実施した。また、2022うおづスポーツレクリエーション祭（雨天のため屋内種目のみ実施）、タグラグビー交流大会、ユニホック交流大会の順位により総合の地区順位を競い、上位地区を表彰した。（1位 村木地区、2位 加積地区、3位 大町地区）

- (2) 優秀選手派遣 全国大会、北信越大会等への出場選手に対し助成 延べ273人、200件
 (3) 選手強化育成 ジュニア選手を中心とした選手強化育成及び指導者の育成
 (4) 学校体育施設開放 市内小・中学校及び旧小学校の体育館、グラウンド等を開放

[各学校体育施設の夜間開放状況]

施設名	開放回数 (回)	利用者数 (人)	使用料 (円)	管理員数 (人)
旧大町小学校体育館	150	1,540	107,400	5
星の杜小体育館	76	750	31,800	6
旧上中島小学校体育館	108	1,067	68,600	7
旧上中島小学校グラウンド	95	1,242	31,500	3
旧松倉小学校体育館	—	—	—	—
旧上野方小学校体育館	168	1,239	131,600	6
よつば小体育館	206	2,084	144,600	5
清流小体育館	227	2,727	119,400	6
清流小グラウンド	48	448	46,000	4
道下小体育館	157	1,229	93,600	4
経田小体育館	175	1,896	71,200	5
西部中体育館	254	5,527	110,200	9
西部中グラウンド	61	1,119	70,500	6
西部中テニスコート	175	1,361	72,000	5
西部中武道場	302	2,457	97,400	4
東部中体育館	282	5,143	208,200	11
東部中グラウンド	4	40	6,000	4
東部中武道場	268	2,439	55,600	7
計	2,756	32,308	1,465,600	97

※旧松倉小学校体育館は令和3年度から管理員による開放を行っていない。

[旧小学校体育施設の日中開放状況（管理員によらない夜間の随時利用含む。）]

施設名	開放回数 (回)	利用者数 (人)	使用料 (円)
旧大町小学校体育館	610	10,085	354,800
旧大町小学校グラウンド	168	3,976	7,500
旧上中島小学校体育館	94	1,736	68,200
旧上中島小学校グラウンド	0	0	0
旧松倉小学校体育館	121	3,523	107,000
旧松倉小学校グラウンド	0	0	0
旧上野方小学校体育館	299	2,926	355,500
旧上野方小学校グラウンド	63	849	0
合計	1,355	23,095	893,000

[各学校体育施設の整備]

① よつば小学校体育館ウレタン塗装	269,148円
② 経田小学校体育館ウレタン塗装	218,900円
③ 旧大町小学校体育館ウレタン塗装	194,150円
④ 東部中学校体育館ウレタン塗装	329,890円
⑤ 旧松倉小学校体育館バスケットゴール金具修繕	16,500円
⑥ 旧上中島小学校体育館漏電修繕	22,000円
⑦ 旧大町小学校体育館排煙窓修繕	35,200円
⑧ 旧大町小学校体育館外灯取替	91,300円
⑨ 西部中学校テニスコート照明不点修繕	101,992円

(5) 登山振興

ア 片貝山荘の清掃、浄化槽保守点検

イ 僧ヶ岳登山道整備委託 登山道整備

令和4年6月26日(日)、7月15日(金)、7月18日(月)

僧ヶ岳登山道整備(東又コース) 参加者延べ23名

令和4年7月20日(水)、7月22日(金)

毛勝岳西北尾根登山道整備 参加者延べ4名

(6) 顕彰事業 教育委員会表彰(5/22(日)表彰、2個人)

4. 指導者養成

多様化するスポーツ活動と市民の要望に対応できるよう、スポーツ推進委員への研修会を実施した。

事業名	会場	参加人数 (人)
普通救命救急講習会	魚津消防署	11
ポッチャ体験会(2回)	星の杜小体育館、清流小体育館	26
KUROBEアクアフェアリーズ視察研修	ありそドーム	20
ふらば〜るバレー研修会(2回)	村木公民館附属体育館、清流小体育館	16
ユニホック研修会(2回)	農村環境改善センター、星の杜小体育館	30
ニュースポーツ出前講習会(3回)	旧上中島小、星の杜小、よつば小体育館	30
UO!SPO!	天神公民館附属体育館	23

5. 指定管理者による施設管理状況(スポーツ係所管施設)

令和2年度まで魚津テクノスポーツドームと市営体育施設及び桃山運動公園の指定管理者の指定を別々に行っていたが、令和3年度から一括して行うこととした。

対象施設：魚津テクノスポーツドーム、市営体育施設(吉田グラウンド、室内温水プール、弓道場、天神山野球場)、桃山運動公園

指定管理者：(公財)魚津市体育協会

指定期間：令和3年4月1日～令和7年3月31日(4年間)

指定管理料：679,087千円(令和4年度指定管理料 169,825千円)

(1) 利用状況及び利用料収入

ア 魚津テクノスポーツドーム

区分	アリーナ		産業展示 ホール	トレーニング室	スタジオ	研修室 主催者室	屋外展示場 及び駐車場等	その他	合 計
	専用利用	一般利用							
人数（人）	93,099	7,519	13,926	39,737	1,194	10,567	493	30,800	197,325
利用料（円）	14,369,226	1,883,250	7,160,893	10,595,610	3,534,093	1,851,354	291,108	1,026,490	40,712,024

イ 市営体育施設（吉田グラウンド、室内温水プール、弓道場、天神山野球場）

区分	室内温水プール	吉田グラウンド	弓道場	天神山野球場	合計
人数（人）	26,601	771	1,159	9,785	38,316
利用料（円）	2,818,410	167,870	42,600	451,000	3,479,880

ウ 桃山運動公園

区分	野球場	調整池G	陸上競技場	運動広場	テニスコート	屋内グラウンド	合計
人数（人）	17,686	2,334	16,738	5,924	6,317	13,200	62,199
利用料（円）	1,833,810	30,160	832,050	273,660	1,637,630	4,855,208	9,462,518

6. 施設の整備状況

(1) 魚津テクノスポーツドーム

ア 自火報設備更新工事	9,240,000円
イ 移動式バスケットゴール更新（一対）	7,909,000円
ウ キッズベース床マット更新	1,199,000円
エ キッズベース遊具更新	2,310,000円

(2) 市営体育施設

該当なし。

(3) 桃山運動公園

・ 陸上競技場放送設備更新工事	1,518,000円
-----------------	------------

《図書館》

概要

図書館は、あらゆる年齢層の利用者に資料及び情報を提供し、学習活動等を支援する施設である。

資料の収集・提供では、新刊図書、視聴覚資料等を購入し市民ニーズに応えた。また、富山県立図書館のもと県内公共図書館等との相互貸借による資料提供を行った。郷土資料、行政資料等の収集・保存・整理に努めた。

また、新型コロナウイルス等感染防止に配慮しながら、市制70周年記念シンポジウム「乱歩と魚津幻想」を実施したほか、郷土に関する文学講座や歴史講座を開催した。加えて、図書館は、建設から15年以上経過し、施設や設備の経年劣化により、故障や使用不能になる箇所が増えているため、令和3年度から令和5年度までの3年間で計画的に修繕を行い、安全で快適な施設、設備の維持を図ることとし、視聴覚室のプロジェクター及び周辺機器の更新や学習室等の照明器具のLED化等を行った。

さらに、保育園や小学校と連携し、児童への読書活動を支援するとともに、小学生を中心として、図書館見学を積極的に受け入れた。

生涯学習の場の提供として、図書館事業と調整しながら研修室・視聴覚室の貸出や学習室の提供を行った。

図書係

1. 施設の概要

- ・位置 魚津市本江1940番地
- ・建物構造 鉄筋コンクリート造り3階建
- ・建物面積 1階 1,613.99㎡ 3階 38.40㎡
2階 1,136.65㎡ 計 2,789.04㎡

2. 教室・講座・集会など

行 事 名	回数(回)	人数(人)	行 事 名	回数(回)	人数(人)	行 事 名	回数(回)	人数(人)
草かな原文で読む読書会	8	31	ふるさと歴史講座	2	51	放送大学オープンセミナー	1	17
古文書解説会	10	68	市制70周年記念シンポジウム 「乱歩と魚津幻想」	1	32	図書館シネマ倶楽部	14	352
川柳教室	10	66	座市社公開研究会 「富山文学を語る 原稿証『語女の魂』」	1	42	おはなし&こどもシネマ	7	135
魚津読書会	12	75	魚津工業高校ものづくり教室	1	8	米騒動『百年の蔵』上映会	2	21
八木先生の文学教室	21	263	こどもリサイクルフェア	1	159	里親制度説明&上映会	1	20
高齢者スマホ教室	4	32	えいごで遊ぼう	1	14	学校・保育園等の図書館見学	13	339
ふるさと文学講座	1	6	リサイクル雑誌フェア	1	153	計	112	1,884

はじめての絵本事業（ブックスタート） コロナ禍により読み聞かせなし、配付のみ 配布数 215

3. 資料展

（ロビー展示）

- ・まちづくりフォーラム展示 令和4年4月5日（火）～4月21日（木）
 - ・生物多様性展示 令和4年5月13日（金）～6月9日（木）
 - ・男女共同参画意識啓発展示 令和4年6月10日（金）～6月22日（水）
 - ・「いつか」のために相続のことを考えてみませんか 令和4年6月23日（木）～7月28日（木）
 - ・非核・平和ポスター展 令和4年7月29日（金）～8月31日（水）
 - ・とやま県民家庭の日ポスター展示 令和4年11月18日（金）～11月24日（木）
 - ・手彫りカレンダー展 令和4年12月14日（水）～12月21日（水）
 - ・イタイイタイ病関連展示 令和5年1月11日（水）～1月31日（火）
 - ・「もしものとき」について大切な人と話し合ってみませんか 令和5年2月21日（火）～3月21日（火）
- （館内展示）

- ・図書館資料展「大伴家持の時代」 令和4年2月19日（土）～5月25日（水）
- ・図書館資料展「魚津市誕生」 令和4年6月1日（水）～8月13日（土）
- ・市制70周年記念「乱歩と蜃気楼幻想」展 令和4年8月26日（金）～10月31日（月）
- ・市制70周年記念「乱歩と蜃気楼幻想」後期展 令和4年11月11日（金）～12月28日（水）
- ・図書館資料展「小川温泉 泉鏡花『湯女の魂』」 令和5年2月21日（火）～4月21日（金）

4. 資料

(1) 蔵書冊数

区 分	図書総冊数（冊）	うち一般書（冊）	うち児童書（冊）	視聴覚資料（本）
蔵 書 冊 数	302,596	248,783	53,813	4,427
（開架冊数）	(96,614)	(75,110)	(21,504)	
年 間 受 入 冊 数	5,328	4,275	1,053	53
年 間 除 籍 冊 数	57	13	44	0

(2) 分類別蔵書冊数

（単位：冊）

総冊数	0 類 総記	1 類 哲学	2 類 歴史	3 類 社会科学	4 類 自然科学	5 類 工学	6 類 産業	7 類 芸術	8 類 語学	9 類 文学	郷土資料	児童図書	その他	視聴覚資料	電子書籍
309,858	10,472	10,918	19,075	31,342	16,499	18,666	7,400	21,607	3,305	73,704	35,758	53,813	37	4,427	2,835

5. 利用状況

個人貸出（ ）内は児童・児童書			団 体 貸 出				
登録者数（人）	利用者数（人）	貸出冊数（冊）	学校・保育園等 団体数（団体）	学校・保育園等 の貸出冊数（冊）	うち学級文庫・園文 庫用貸出冊数（冊）	その他の団体 数（団体）	その他の団体の 貸出冊数（冊）
31,391	60,166	215,219	10	1,057	0	6	1,157
(1,400)	(4,672)	(56,922)					

相互貸借件数（冊）		調査相談件数（件）	予約資料件数（件）	障害者サービス（録音テープ）		入館者数（人）
借 受	貸 出			登録者数（人）	貸出数（本）	
540	773	775	4,585	6	50	156,010

6. 図書館ボランティアの状況

活動団体・グループ数 5つ 登録者数 47人（令和5年3月31日現在）

活動内容 絵本等の読み聞かせ、市広報・市議会だより等の音訳、リサイクル図書の整理、はじめての絵本事業の支援（絵本の読み聞かせ） ※令和4年度は絵本の読み聞かせを再開した。

7. 施設の提供

- ・研修室・視聴覚室の貸出（有料） 25件
- ・学習室の利用（無料） 9,325件

8. 主な寄附、寄贈

- ・国際ソロプチミスト富山ー東 200,000円（電子図書館コンテンツ費として）

9. 魚津市立図書館協議会

- ・令和4年10月25日（火）午後3時30分～ 出席委員9名 欠席委員1名
- ・令和5年3月7日（火）午後3時30分～ 出席委員6名 欠席委員4名

《埋没林博物館》

概要

魚津埋没林は、約2,000年前の環境変動によって地中に埋もれたスギ巨木の原生林跡で、特別天然記念物に指定されている。博物館はその指定地に立地し、出土した現地で埋没林及び関連分野の資料等を保存、展示している。

また、同地は蜃気楼展望地点（市指定名勝）であり、全国から関係者が集まる蜃気楼交流会の開催や蜃気楼発生時には、観測・記録、メールマガジンの発信、証明書の発行を行っている。館内では蜃気楼の解説展示やハイビジョンホールで蜃気楼の映像を上映している。

令和4年度は、市制70周年記念事業として特別展「富山の海のふしぎ 魚津の三大奇観」、蜃気楼フォーラム兼第18回蜃気楼交流会（令和4年6月11日、6月12日）や埋もれ木サミットin魚津（10月1日）等を開催した。特別展では、魚津の三大奇観（ホタルイカ、蜃気楼、埋没林）をパネルや写真で紹介した。蜃気楼フォーラムでは、市内の高校生とのコラボイベントを行い、演劇や海の環境をテーマにしたワークショップを行った。また埋没林と蜃気楼の最新情報を盛り込んだ解説書を作成した。

教育普及・展示事業として、博物館教室、ジオパーク普及講座、写真展、広報誌発行、学芸員の講師派遣等を行った。

本年度の総入館者数は27,453人であり、平成4年のリニューアルからの入館者数累計は1,996,017人である。

管理係

1. 施設の概要

- ・位置 魚津市釈迦堂814番地
- ・敷地面積 16,336㎡
- ・延床面積 3,659㎡（管理棟435㎡、連絡通路116㎡、テーマ館1,330㎡、乾燥展示館136㎡、水中展示館733㎡、ドーム館811㎡、機械棟98㎡）

（展示および設備等概要）

場 所	展 示 物 ・ 設 備 等
管 理 棟	埋没林乾燥樹根（1点）、蜃気楼ライブモニター、事務室、受付、カフェ「KININAL」
連 絡 通 路	魚津の大地の記憶（岩石標本28点、化石1点）
テ ー マ 館	1階 埋没林コーナー（出土物資料展示、体験展示、解説パネル等） 蜃気楼コーナー（蜃気楼再現装置、体験展示、気象データ等） ジオパークコーナー（解説パネル、ジオめぐりマップ、各地のジオパークパンフ等） 魚津の水循環コーナー（地形模型、解説パネル等） 土産品販売コーナー、木っずルーム（3Dアート1点）、授乳室
	2階 ハイビジョンホール
	3階 企画展示室、展望解説板（屋上展望台）
乾 燥 展 示 館	埋没林乾燥資料（樹根2点、樹幹1点）、解説パネル
水 中 展 示 館	1階 埋没林水中保存樹根（3点）、解説パネル、地鎮杉資料、3Dアート（3点）
	2階 研究室、研修室、資料室
ド ー ム 館	埋没林乾燥資料（樹根3点、樹幹1点）、洞杉乾燥標本（3点）、岩石標本（10種13点）、地層はく離標本、解説パネル、3Dアート（1点）

2. 入館者数及び入場料金

(単位：人、円)

区 分	入館者数			入場料金		
	一 般	小中学生	計	一 般	小中学生	計
個 人	23,832	2,092	25,924	13,293,245	117,139	13,410,384
団 体	1,247	282	1,529	186,264	57,876	244,140
計	25,079	2,374	27,453	13,479,509	175,015	13,654,524

3. 教育普及・展示事業

(1) 博物館教室及びジオパーク普及講座

・ つくれるかな?! 蜃気楼	参加 4 人	令和 4 年 4 月 23 日 (土)
・ 蜃気楼フォーラム兼第18回蜃気楼交流会	参加127人	令和 4 年 6 月 11 日 (土) ～ 6 月 12 日 (日)
・ 夏休み自由研究相談室	参加 3 人	令和 4 年 7 月 23 日 (土) ～ 8 月 31 日 (水)
・ 埋もれ木サミット in 魚津	参加59人	令和 4 年 10 月 1 日 (土)
・ 海のお宝シーグラスアート	参加15人	令和 4 年 7 月 23 日 (土)
・ 松倉城と砂金ツアー	参加15人	令和 4 年 9 月 23 日 (金)
・ 蜃気楼ロードツアー	参加 6 人	令和 4 年 10 月 29 日 (土)
・ キッズジオ「海辺の砂でジオ遊び！」	参加15人	令和 4 年 10 月 22 日 (土)
・ スギの王国魚津! 未来の洞杉をさがそう	参加11人	令和 4 年 11 月 12 日 (土)
・ クリスマスリースを作ろう	参加13人	令和 4 年 11 月 26 日 (土)
・ 冬に発見? しんきろうと面白実験	参加26人	令和 4 年 12 月 17 日 (土)、 令和 5 年 1 月 21 日 (土)
・ 市内高校生コラボイベント		令和 4 年 4 月 ～ 令和 5 年 1 月に実施
・ 万華鏡をつくろう	参加 6 人	令和 5 年 3 月 4 日 (土)

(2) 企画展・写真展

・ 写真展「魚津ナチュラルギャラリー22」	令和 4 年 1 月 2 日 (日) ～ 4 月 30 日 (土)
・ 蜃気楼写真展	令和 4 年 5 月 1 日 (日) ～ 6 月 30 日 (木)
・ 特別展「富山の海のふしぎ魚津の三大奇観」	令和 4 年 7 月 15 日 (金) ～ 10 月 31 日 (月)
・ 蜃気楼カレンダー写真コンテスト入選作品展	令和 4 年 11 月 1 日 (火) ～ 12 月 28 日 (水)
・ 写真展「魚津ナチュラルギャラリー23」	令和 5 年 1 月 2 日 (月) ～ 4 月 30 日 (日)
・ 大野隆雄写真展	令和 5 年 3 月 5 日 (日) ～ 4 月 29 日 (土)

(3) 観客誘致活動

・ まいはくクイズラリー春の蜃気楼編	令和 4 年 4 月 28 日 (木) ～ 5 月 31 日 (火)
・ 花や木のバルーンアートをつくろう	令和 4 年 8 月 14 日 (日)
・ まいはくクイズラリー冬のお天気編	令和 5 年 1 月 2 日 (月) ～ 2 月 28 日 (火)
・ 埋没林樹根の清掃と水のない埋没林の展示	令和 4 年 12 月 28 日 (水)

(4) 広報誌、刊行物

- ・ 「うもれ木」第54号発行
- ・ 魚津の自然シリーズ「蜃気楼」
- ・ 魚津の自然シリーズ「埋没林」

(5) 講師等の派遣

・水の学び舎ツアー「蜃気楼勉強会と埋没林について」	令和4年5月22日（日）
・魚津高校図書館イベント「蜃気楼について」	令和4年7月19日（火）
・富山湾を愛する会「新湊大橋の蜃気楼」	令和4年7月23日（土）
・お天気教室「蜃気楼の実験」	令和4年8月11日（木・祝）
・魚津市教育センター郷土研修会	令和4年8月17日（水）
・富山湾おさかな学校	令和4年8月22日（月）
・富山県民カレッジ「富山湾の蜃気楼とお天気」	令和4年8月25日（木）
・富山市民大学「立山黒部ジオパークを知る」	令和4年9月21日（水）・10月5日（水）
・魚津高校進路探訪「蜃気楼と進路について」	令和4年9月24日（土）
・縄文の森ミュージアム「三瓶月イチガク」	令和4年9月24日（土）
・魚津市水守ガイド養成講座	令和4年9月26日（月）・11月3日（木）
・富山大学「持続可能社会創成学環授業科目」	令和4年9月29日（木）
・若栗小学校「作って見ようしんきろう」	令和4年10月26日（水）
・富山県いきいき長寿大学「蜃気楼のあゆみと科学」	令和4年11月17日（木）・24日（木）
・富山大学	令和5年1月5日（木）
・まちづくりふれあい講座	令和5年1月28日（土）

4. 蜃気楼関連事業

(1) 蜃気楼フォーラム兼第18回蜃気楼交流会（令和4年6月11日（土）、12日（日））

- ・研究発表会（埋没林博物館研修室） 研究発表10題、参加者127名

(2) 蜃気楼観測回数・証明書発行枚数

（単位：回、枚）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
観測回数	13	11	9	2	0	1	1	2	0	1	0	10	50
証明書発行枚数	681	1,267	75	80	0	4	0	0	0	0	0	150	2,257

《水族博物館》

概要

魚津水族博物館（魚津水族館）は、水生生物を常設展示する富山県内唯一の水族館である。また大正2年（1913年）に創設され、現存する水族館としては日本で最も古く、長い歴史のある水族館でもある。「北アルプスの溪流から日本海の深海まで」、「富山湾を科学する」を基本テーマに、各種生物の調査研究及び収集、飼育、展示や教育普及活動を行っている。

企画展事業として、市制70周年企画展「魚津のバイ展」では、市制70周年を記念して、本市で古くから行われてるバイ漁及び漁獲されるバイの仲間5種25点を紹介した。また、市制70周年を記念し魚津水族館の展示を解説したガイドブック「魚津水族館のさかな」を発刊し、本書を持つ「うおすいサポーター」を対象にガイドツアーを行った。夏の企画展「とんがり展」では、富山にすむ「とんがった」生き物や南の海や海外の生き物を12種37点紹介した。

博物館事業として、「ホタルイカNEW発光実験（有料）」を開催した。また、ふるさと教育の一環として、市内小学5年生を対象に「ホタルイカ発光実験」の出前講座を行い、児童や教員から好評を得た。

魚津水族館サポーター事業の中でも教育普及活動の一環として「うおづ水辺の調査隊」事業を行っている。市内の活動については、密を避け新型コロナウイルス感染対策に十分配慮しながら実施した。保全活動では、市内の小学校で魚津産キタノメダカの繁殖と保全を行い、全小学校に教材用に配布する活動を継続している。

新型コロナウイルス感染症により昨年中止していた、おさかなショー、お食事タイム、入館者のエサやり体験等を再開した。また、10月からは孫とお出かけ事業も再開した。

魚津水族館としては2年ぶりとなるフンボルトペンギンの雛が令和4年5月に孵化した。7月には巣立ちを迎え、来館者に愛らしい姿を見せている。

補助金を活用し昨年改修した富山湾大水槽のネット遊具、新たに設置した自転車を漕いで水流を発生させ、魚が流れに逆らって泳ぐ様子を観察できる水槽等は、大変多くの来館者にご利用いただき、新たな魚津水族館の人気コーナーとなった。

施設改修のため令和5年2月13日（月）から令和5年2月17日（金）までの期間を臨時休館とした。

令和4年度の入館者数は、前年度対比137.6%で152,871人（有料入館者数119,761人、無料入館者数33,110人）となった。

1. 施設の概要

- ・位置 魚津市三ヶ1390番地
- ・建物構造 鉄筋コンクリート造 3階建
- ・建物面積 1,189.09㎡
- ・床面積 4,170.41㎡
- ・敷地面積 16,864.04㎡（魚津総合公園内）

階名	飼育展示水槽・室名	面積（㎡）
1階	休憩所、倉庫、荷捌所、トラック搬入室、冷凍庫、機械室、電気室、自家用発電機室、ボイラー室、プロア室、手洗所、上水貯水槽、海水貯水槽、淡水貯水槽、係員控室等	1,126.34
2階	富山の河川コーナー、田んぼの生物多様性コーナー、波の水槽、海岸の生物コーナー、深海生物コーナー、円柱水槽、表層生物コーナー、富山湾大水槽、富山湾のトピックスコーナー、ドチザメ水槽、クラゲ水槽、アマモ場コーナー、ジャングルコーナー、ウミガメ水槽、ガラエステコーナー、ふれあい水槽、アザラシプール、事務室、チケット売場、インフォメーション、会議室、手洗所等	1,271.07
3階	サンゴ礁コーナー、バックヤードコーナー、キッズコーナー、おさかなショー、ピラルク水槽、写真水槽、繁殖養殖水槽、展示用魚類蓄養水槽、レクチャーホール、うすいファミリーウム、会議室、飼育係員室、暗室、研究室、倉庫、宿直室、ダイバー控室、授乳室、手洗所等	1,266.95
屋塔	1階及び2階ファンルーム、空調和機室、高置水槽、エレベーター機械室、手洗所等	271.34
屋上	広場、展望台	
屋外施設	屋外円形水槽、ペンギン舎プール、プロパン庫、高圧ボンベ室、取水ポンプ室、合併処理浄化槽施設等	234.71

2. コーナー類別水槽及び水量・展示種類

（単位：t、種）

	展示コーナー	水槽数	水量(t)	種類数		展示コーナー	水槽数	水量(t)	種類数
1	富山の河川コーナー	5	9.5	29	20	サンゴ礁コーナー 魚類水槽	4	3.3	32
2	富山の河川置き水槽	2	0.4	3	21	サンゴ礁コーナー サンゴ水槽	3	3.1	25
3	トンボの変態コーナー	4	0.1	4	22	アクアベース	3	1.0	17
4	田んぼの生物多様性コーナー	3	14.8	29	23	おさかなショー	5	2.7	3
5	波の水槽	1	15.9	21	24	ピラルク水槽	1	21.0	4
6	海岸の生物コーナー	5	0.6	42	25	写真水槽	1	2.0	1
7	円柱水槽	1	4.1	0	26	うすいファミリーウム	4	0.2	8
8	深海生物コーナー	6	20.2	32	27	ウミガメ水槽	1	9.0	1
9	表層生物コーナー	7	10.5	24	28	ガラエステコーナー	2	2.0	1
10	富山湾大水槽	1	240.0	18	29	ふれあい水槽	1	0.5	10
11	富山湾のトピックスコーナー	3	1.4	11	30	アザラシプール	2	40.0	1
12	富山湾のトピックス置き水槽	1	0.4	2	31	屋外円形水槽	1	20.0	3
13	ドチザメ水槽	1	3.5	1	32	ペンギンプール	1	13.5	1
14	クラゲ水槽	2	0.1	2	33	企画展「隠岐の島展」	2	0.1	6
15	アマモ水槽	1	1.0	12					
16	ジャングルコーナーA 1～3	3	1.0	3					
17	ジャングルコーナーA 4～11	8	0.8	11					
18	ジャングルコーナーB 1～3	3	0.0	3					
19	ジャングルコーナーB 4～8	5	0.0	5					
						計	93	442.7	365

3. 展示生物内容（年間）

（単位：種、尾）

	展示魚類等区分	種類数	尾数		展示魚類等区分	種類数	尾数
1	富山県海水魚	108	708	8	冷水性淡水魚	3	7
2	富山県淡水魚	46	336	9	両生類	7	50
3	富山県海産無脊椎動物	16	148	10	爬虫類	13	20
4	富山県淡水無脊椎動物	69	487	11	鳥類	1	17
5	熱帯産海水魚	25	91	12	哺乳類	1	2
6	熱帯産淡水魚	21	146				
7	熱帯産無脊椎動物	55	179		計	365	2,191

4. 入館者数

（単位：人）

	個人			団体			無料	計
	一般	小・中学生	幼児	一般	小・中学生	幼児		
令和4年度	80,260	17,844	14,057	1,519	4,060	2,021	33,110	152,871
令和3年度	58,785	11,873	10,739	1,279	5,122	1,381	21,920	111,099

5. 入館料

（単位：円）

	現金	PayPay	クーポン等	手数料（△）	計
令和4年度	76,504,782	16,278,870	1,753,655	13,909	94,523,398
令和3年度	63,275,779	5,068,360	1,724,634	16,759	70,052,014

[令和4年度の主な事項]

1. 企画・展示に関すること

名 称	開 催 期 間
市制70周年企画展「魚津のバイ展」	令和4年3月30日（水）～5月31日（火）
ホタルイカNEW発光実験	令和4年3月18日（金）～5月22日（日） ※期間中の土日、祝日 定員20名（有料）
富山湾の宝石シロエビ展示	令和4年5月1日（日）～5月5日（木）
夏の企画展 とんがり展	令和4年7月13日（水）～8月15日（月）
マツカサウオの発光を見てみよう！	令和4年8月13日（土）～8月15日（月）
世界で最も美しい湾クラブ国内加盟湾パネル展	令和4年8月17日（水）～9月2日（金）
クリスマス展	令和4年11月22日（火）～12月25日（日）
NOWPAP 海洋ゴミのパネル展	令和5年3月24日（金）～3月30日（木）
ホタルイカ写真水槽	令和5年3月17日（金）～5月21日（日）
ホタルイカ生体展示	令和5年3月17日（金）～5月21日（日）

2. 教育普及活動に関すること

(1) 博物館教室

名 称	開 催 日
○サポーター活動	
（ミッケピオトープ）田植え	令和4年5月22日（日）
（ミッケピオトープ）稲刈り	令和4年9月17日（土）
（釣ろう！展示しよう！）	令和4年10月15日（土）
（ミッケピオトープ）試食会	令和4年10月23日（日）
○うおづ水辺の調査隊	
（別又散策・採集講習）	令和4年6月18日（土）
（角川散策・採集講習）	令和4年7月2日（土）
（海岸散策・採集講習）	令和4年7月16日（土）
（調査隊研究発表会）	令和4年11月5日（土）

(2) アウトリーチ活動

- ・魚津市内の5小学校に「ホタルイカ発光実験」を出前 令和4年5月17日（火）～5月20日（金）
- ・魚津市内の5小学校に教材用の魚津産キタノメダカを配布 令和4年5月17日（火）～5月20日（金）
- ・水みらいプロジェクト（学校水族館）
 - 富山市立大沢野小学校 令和4年9月28日（水）・令和4年10月28日（金）
 - 滑川市立東加積小学校 令和4年10月13日（木）・令和5年2月9日（木）

3. 講師等派遣

派 遣 先	場 所	開 催 日
一般社団法人立山黒部ジオパーク協会 「ジオガイド養成講座」	魚津水族館	令和4年4月24日(日)
富山県中央植物園「富山の生物多様性」	富山県中央植物園	令和4年5月29日(日)
富山大学理学部授業「海洋科学」	富山大学理学部	令和4年6月2日(木)、6月9日(木)
黒部市立桜井小学校 「トンボとバッタを育てよう」	黒部市立桜井小学校	令和4年6月15日(水)
富山市教育委員会「富山市民大学」	富山市民学習センター	令和4年6月22日(水)
株式会社釣屋魚問屋 「氷見の海の日2022つりやラジオ」	FMとやま	令和4年7月18日(月)
朝日町笹川公民館 「水中の生き物と環境の関わりについての学習」	朝日町 共生の里ささ郷	令和4年7月23日(土)
魚津工業高等学校 「学びの体験オープンハイスクール」	魚津水族館 (オンライン)	令和4年7月27日(水)
日本財団「海と日本プロジェクトin長野県実行委員会 小学生向け学習イベント」	魚津水族館・雨晴海岸	令和4年7月28日(木)
ネットヨタ富山「ネット富山フェスタ2022」	ネット富山本店	令和4年7月30日(土)、7月31日(日)
魚津市文化協会「魚津市文化協会講演会2022」	魚津水族館	令和4年7月30日(土)
富山県中央植物園「池の生き物を調べよう」	富山県中央植物園	令和4年8月4日(木)
日本財団 「海と日本PROJECT富山湾おさかな学校」	魚津水族館	令和4年8月18日(木)
公益社団法人富山県農林水産公社 「有峰公開視察会」	有峰文化公園	令和4年8月21日(日)
舟橋村教育委員会 「ふるさとの川でつながる環境教育」	舟橋小学校	令和4年9月7日(水)
村木地区振興会高齢者学級	魚津水族館	令和4年9月13日(火)
八尾高等学校「職業研究会」	八尾高等学校	令和4年9月16日(金)
魚津市生活環境課「うおづ水守養成講座」	魚津水族館・別又、南又谷	令和4年9月19日(月)
イオンリテール㈱「イオンチアーズクラブ」	魚津水族館	令和4年9月24日(土)
富山テレビ放送株式会社 「隠岐諸島生物調査における取材協力」	隠岐の島	令和4年9月26日(月)～9月29日(木)
朝日町主催「みんなび」親子体験会	朝日町立さみさと小学校	令和4年11月3日(木)
富山県生涯学習カレッジ 「ふれよう！新川-地域資源を見つめ直す-」	魚津水族館	令和4年11月12日(土)
トヨタモビリティ富山 「魚津自主企画イベント」	モビリティ富山魚津店	令和4年11月19日(土)
北日本マーケティングクラブ施設見学	魚津水族館	令和4年11月22日(火)
朝日町主催「みんなび」	五叉路CrossFive (朝日町)	令和5年1月27日(金)
下中島公民館高齢者学級	下中島公民館	令和5年2月16日(木)
日本財団 「海と日本PROJECT全国こども熱源サミット」	魚津水族館 (オンライン)	令和5年3月25日(土)

4. 研修生・実習生受入れ

- ・実習生 6名 (小学生1名、中学生2名、大学生4名)

5. 出版物

市政70周年記念「魚津の自然シリーズ ホタルイカ」(令和4年7月15日発行)

《地域協働課》

概要

市民交流係は、放課後子ども教室推進事業、地区公民館の施設管理及び公民館事業等を行った。今年度の事業については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止又は延期を検討し、感染症防止対策を行い状況に応じて事業を実施した。

放課後子ども教室推進事業では、子どもたちが安心して活動できる身近な場所（公民館・学校等）を整備し、放課後や休日の体験活動及び交流活動を実施した。総合的な放課後対策を推進するために放課後子どもプランに基づき、「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」の連携を図り「放課後子ども教室」として、「一体型」の星の杜放課後子ども教室を実施している。また、土曜日の教育活動の充実を目的に、体系的・継続的に文化・芸術やスポーツ、体験活動に取り組む土曜日の豊かな教育活動推進事業を実施した。

地区公民館事業では、地域住民のニーズに沿った各種教室を実施し、住民が気軽に集い、生涯学習や文化活動といった学びを通して地域の教育環境の充実を図るための事業を行った。また、コミュニティ活動の拠点として地域住民が安全に快適に利用できるよう、松倉公民館トイレ洋式化改修工事、網戸設置工事、防犯カメラ取付工事等、適宜修繕を行い適正な管理に努めた。

その他、魚津市公共施設再編方針に基づき、公民館が社会教育の場としてだけでなく地域の特性や独自性を活かした地域活動の拠点施設となるよう、旧小学校施設利用や建替えについて協議を行った。

市民交流係

1. 放課後子ども教室推進事業

- ・放課後子ども教室推進事業 地区公民館（コミュニティセンター）及び星の杜小学校で3教室を開設
教室開催数 38回 参加延人数 398人
- ・土曜日の豊かな教育活動推進事業 各地区公民館（コミュニティセンター）で13教室を開設
教室開催数 211回 参加延人数 2,230人

2. 公民館活動振興事業

13地区の公民館において、高齢者学級をはじめ、しめ縄づくりや伝承遊びなどの異世代交流事業や料理教室、スポーツ教室等地域の特性に応じた公民館事業を実施し、社会教育の推進を図った。また、地域振興会との各種共催行事を行い、コミュニティ活動の拠点施設として地域の活性化に取り組んだ。これらについては広報紙等を発行し参加者を呼びかけ、公民館活動の周知啓発に努めた。

(1) 公民館の概要

公民館名	利用延人数（人）	利用料金（円）
中央公民館	—	—
大町公民館	11,601	—
村木公民館	15,922	—
下中島公民館	4,337	24,800
上中島公民館	2,727	15,980
松倉公民館	1,345	11,500
上野方公民館	6,183	117,320
本江公民館	9,321	129,850
片貝公民館	7,461	—
加積公民館 （農村環境改善センター）	18,159	903,516
道下公民館	11,766	78,370
経田公民館	4,787	63,320
天神公民館	5,509	429,670
西布施公民館	5,156	91,970
合計	104,274	1,866,296

※大町公民館、片貝公民館及び村木公民館の利用料金は、各コミュニティセンターで計上されている。

(2) 各種事業の開催状況

- ・教室（延）実施回数 494回
- ・教室（延）参加人数 9,295人

3. 公民館施設の整備状況

公民館網戸設置工事	786,434円
地区公民館防犯カメラ取付工事	952,600円
松倉公民館トイレ洋式化改修工事	1,298,000円

《こども課》

概要

こども課では、子どもの権利条例に関する事務及び幼稚園の運営を行った。

魚津市子どもの権利条例に基づく子どもの権利委員会を開催した。また、魚津市子ども会議を開催し、子どもの権利条例に関する意識啓発に努めた。

幼稚園教育に関しては、新型コロナウイルス感染防止対策に努めながら、幼稚園教育要領に基づき、園児の個性と創造性を育む「幼稚園交流活動事業」を実施するなど、幼稚園教育の充実と地域との連携に努めた。また、昨年度から引き続き、国の保育士等処遇改善臨時特例交付金を活用する等し、職員の処遇改善を行った。

子育て支援係

1. 子どもの権利推進事業

魚津市子どもの権利委員会の開催（令和4年11月11日（金） 内容：魚津市子どもの権利関係事業及び子どもの権利に関する取組について）

第16回魚津市子ども会議の開催（令和4年11月15日（火） 参加者 小中学生18名）

啓発事業 『魚津市子育て応援サイト』の周知、市広報11月号掲載

保育係

1. 市立幼稚園の運営について

(1) 施設の概要（令和4年5月1日現在）

資料：公立学校施設台帳

施設名	建物面積（㎡）				校地面積（㎡）		
	校舎	体育館	その他	計	保有	借用	計
大町幼稚園	620	0	0	620	1,520	0	1,520

(2) 児童の状況（令和4年5月1日現在） 資料：公立学校施設台帳

施設名	学級数 （室）	教職員数 （人）	園児・児童・生徒数（人）		
			男	女	計
大町幼稚園	3	6	10	12	22

令和4年度各決算に係る 主要な施策の成果報告書

魚津市教育委員会

目 次

令和４年度実績に関する施策・基本事業評価表

施策No.13	学校教育の充実		1
施策No.14	生涯学習の推進		7
施策No.15	芸術文化・スポーツの振興		12

令和 4 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	未来につなぐまち	政策名	誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり						
施 策 No.	13	施 策 名	学校教育の充実						
主管課名	教育総務課								
関係課名	学校給食センター・こども課・健康センター・建設課・生活環境課								
10年後の 目指す姿	教育活動が充実するとともに教育環境が整備されています。								
施策の現状 及び課題	現 状	・児童生徒の意欲的な学習への取組や、互いを尊重し合う豊かな心の育成に向けて、様々な教育活動に取り組んでいます。 ・児童生徒が安全・安心な学校で学ぶことができるように教育環境の整備に取り組んでいます。							
	課 題	・学習支援員やALT等の人材の充実、ICTを活用した教育やふるさと教育の推進を通して、児童生徒の学力向上及び豊かな心の育成を図る必要があります。 ・ICT機器を含めた学校施設の適切な維持管理、通学時の安全確保に向けて取り組む必要があります。							
施策を進めるための役割分担	行 政	・児童生徒が意欲的に学習に取り組むための教育活動の充実に取り組みます。 ・自己肯定感を身に付け、命を尊び、他者を思いやり支え合う心を育成します。 ・安全で健康な生活及び望ましい食生活など、健康的な生活習慣を形成する環境を整備します。 ・児童生徒が安全で安心して学習できる環境を整備します。							
	市 民 ・ 事 業 所	・子どもの基本的な生活習慣（早寝・早起き、食事のマナー、あいさつなど）や家庭学習の習慣が身に付くよう努めます。 ・学校教育に対する理解を深め、学校との協力・連携に努めます。 ・民間の事業所が連携、協力し、児童生徒のプログラミング教育推進の支援に努めます。							
目指す姿の実 現のための取 組 （基本事業）	基本事業①	確かな学力を育む教育の推進							
	基本事業②	豊かな心を育む教育の推進							
	基本事業③	健やかな体を育む教育の推進							
	基本事業④	教育環境の整備・充実							
施策の トータルコスト	区 分		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	38 (36)	38 (36)				
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	10 (10)	10 (10)				
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	6 (6)	6 (6)				
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	9 (7)	9 (7)				
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	13 (13)	13 (13)				
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）		千円	507,319	771,697				
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	98,326	87,346				
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	13,327	16,309				
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円	129,904	207,891				
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円	265,762	460,151				
	C. 施策に携わる正規職員数合計		人	60	60				
	D. 事務事業に要する年間総時間		時間	14,940	15,380				
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）		千円	58,610	59,613					
F. トータルコスト（B＋E）		千円	565,929	831,310					
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費（定義式：B／人口）		円	12,534	19,332				
	同 上		円	1,448	1,493				
	H. 人件費（定義式：E／人口）								
	同 上		円	13,981	20,825				
I. トータルコスト（定義式：F／人口）									
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	3,923	3,876				
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	40,477	39,919				

基本事業概要シート①

施策 No.	13	施策名	学校教育の充実
基本事業名	①確かな学力を育む教育の推進		
基本事業の目的(意図)	英語教育やプログラミング教育を推進するとともに、特別支援スタディメイトの配置等により特別支援教育の充実を図ります。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	【英語教育推進事業】 ・令和2年度から小学校の英語教科化が導入され、全小中学校に計5名の外国語指導助手を配置し、中学校の英語や小学校での外国語活動の補助を行いました。 【特別支援教育推進事業】 ・発達障害等、特別な支援が必要な児童生徒に対して、にこにこ相談会の実施、スタディメイトの配置等、学習指導上の支援を行いました。また、特別支援教育コーディネーターを配置し、切れ目のない連携支援を実施しました。 【学力向上プラン研究事業】 ・小中学校の拠点校2校を中心とした確かな学力の育成のための実践研究と検証改善を推進しました。 ・中学校2校において、放課後学習をのべ33回行いました。 【小学校教育研究事業、中学校教育研究事業】 ・教職員の指導力向上を目的とした研修会を11回行いました。 ・「魚津っ子の学び向上委員会」を2回開催しました。 【プログラミング教育推進事業・ロボコン魚津大会実施事業】 紅ズワイガニロボコン魚津大会を開催し、17チーム21名の参加がありました。		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)						
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)	
学習の達成状況	%	101.0(小)	98.8	101.2	101.4	101.6	101.8	102.0	103.0	
				100.0	98.1					
		93.6(中)	94.4	96.0	97.0	98.0	99.0	100.0	101.0	
				96.0	99.3					

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	令和4年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	教育環境一般管理費	42,604,000	37,131,637	5,472,363	-	教育総務課
2	一般会計	○ 英語教育推進事業	26,428,000	26,427,500	500	A	教育総務課
3	一般会計	○ 特別支援教育推進事業	3,758,000	3,085,889	672,111	A	教育総務課
4	一般会計	学力向上プラン研究事業	1,834,814	1,676,818	157,996	-	教育総務課
5	一般会計	教育センター運営費	3,251,000	2,973,043	277,957	-	教育総務課
6	一般会計	小学校教科用図書給付事業	2,669,000	2,459,740	209,260	-	教育総務課
7	一般会計	○ 小学校教育研究事業	5,352,500	3,955,128	1,397,372	A	教育総務課
8	一般会計	中学校教科用図書給付事業	1,566,000	1,449,750	116,250	-	教育総務課
9	一般会計	○ 中学校教育研究事業	2,460,623	2,154,204	306,419	A	教育総務課
10	一般会計	○ プログラミング教育推進事業・ロボコン魚津大会実施事業	6,282,500	6,032,706	249,794	A	教育総務課
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			96,206,437	87,346,415	8,860,022		

基本事業概要シート②

施策 No.	13	施策名	学校教育の充実
基本事業名	②豊かな心を育む教育の推進		
基本事業の目的(意図)	地域での職場体験によるふるさと教育や、乳幼児とのふれ合いによるいのちの教育を推進し、児童生徒の豊かな心の育成に取り組みます。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	【学校司書配置事業】 ・市内の全ての小中学校に学校司書を配置し、図書の整備や児童生徒の読書活動の推進に取り組みました。 【適応指導教室運営事業】 ・適応指導教室「すまいる」において、不登校傾向の児童生徒の学校復帰を支援しました。 【小学校教育研究事業】 ・「ふるさと教育スタンダードプラン」に基づき、ふるさと発見バス事業を小学校2学年、4学年、5学年、6学年に実施しました。 ・地域への愛着をもってもらうため、地場産業体験事業を小学校3年生に実施しました。 【情操教育推進事業】 ・小中学校においていのちの授業を8回実施しました。 ・いじめ防止対策推進委員会を開催しました。 【社会に学ぶ14歳の挑戦事業】 ・市内100事業所の協力により実施しました。		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)						
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)	
不登校児童・生徒の割合	%	1.05(小)	1.15	1.05	1.0	0.9	0.8	0.7	0.5	
		4.43(中)	5.39	1.40	2.06					
児童生徒一人当たりの1か月の読書冊数	冊	6.9	7.6	3.8	3.6	3.4	3.2	3.0	2.0	
				5.80	8.26					
				7.2	7.6	7.9	8.2	8.5	10.0	
				8.4	8.5					

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	令和4年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	子どもの権利推進事業	97,000	68,615	28,385	-	こども課
2	一般会計	○ 学校司書配置事業	7,853,000	6,964,975	888,025	A	教育総務課
3	一般会計	○ 適応指導教室運営事業	9,256,000	8,199,099	1,056,901	A	教育総務課
4	一般会計	○ 情操教育推進事業	456,186	121,000	335,186	A	教育総務課
5	一般会計	○ 社会に学ぶ14歳の挑戦事業	1,222,000	955,331	266,669	A	教育総務課
6	予算なし	スクールカウンセラー等配置事業	0	0	0	-	教育総務課
7	一般会計	○ ふるさと教育推進事業(施策4①再掲)	(7,026,000)	(6,560,740)	(465,260)	A	教育総務課
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			18,884,186	16,309,020	2,575,166		

基本事業概要シート③

施策 No.	13	施策名	学校教育の充実
基本事業名	③健やかな体を育む教育の推進		
基本事業の目的(意図)	望ましい食生活の習慣が身に付くよう、食育を推進します。また、学校給食での地場産食材の利用拡大を図ります。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	【児童・教職員健康診断事業、生徒・教職員健康診断事業】 ・児童生徒及び教職員の健康診断等を行いました。 【学校給食運営事業】 ・栄養バランスの取れた、安全でおいしい学校給食を提供しました。 ・「魚津市学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、食物アレルギーを有する児童生徒が、安全・安心に学校生活を送ることができるよう食物アレルギー事故等を防止に取り組みしました。 【食育推進事業】 ・平成30年度に策定した「第2期魚津市食育推進計画」に基づき、関係各課及び各種団体と連携しました。		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)						
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)	
けがや病気の件数	人	7.2	7.3	6.8 7.1	6.4 7.1	6.1	5.8	5.5	4.0	
学校給食の残食率	%	2.5	3.3	3.0 3.9	2.7 4.9	2.2	1.8	1.5	1.0	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	令和4年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	予算なし	食育推進事業	0	0	0	-	教育総務課
2	一般会計	○ 児童・教職員健康診断事業	8,584,000	7,496,417	1,087,583	A	教育総務課
3	一般会計	○ 生徒・教職員健康診断事業	5,383,000	4,675,631	707,369	A	教育総務課
4	一般会計	○ プール授業外部委託モデル事業	1,870,000	1,468,339	401,661	A	教育総務課
5	一般会計	学校給食配送業務	12,733,920	12,733,920	0	-	学校給食センター
6	一般会計	○ 学校給食運営事業	137,863,165	131,358,424	6,504,741	A	学校給食センター
7	一般会計	学校給食施設維持管理事業	52,865,292	50,158,698	2,706,594	-	学校給食センター
8	予算なし	学校給食ふるさと食材活用事業	0	0	0	-	学校給食センター
9	予算なし	学校給食会計経理事業	0	0	0	-	学校給食センター
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			219,299,377	207,891,429	11,407,948		

基本事業概要シート④

施策 No.	13	施策名	学校教育の充実
基本事業名	④教育環境の整備・充実		
基本事業の目的(意図)	学校規模適正化を進めるとともに、教育現場の働き方改革推進の視点からも、ICTを含めた教育環境整備に取り組みます。また、関係機関と連携して児童生徒の安全な通学を確保します。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	【小中学校教育振興・情報化事業】 ・小中学校すべての児童生徒に1人1台のICT環境(タブレット)を整備しました。 【教育ネットワーク管理事業】 ・教職員のパソコン及び電子黒板の整備を行いました。 【小中学校維持管理事業】 ・感染症対策に必要な保健衛生用品の購入及び備品を整備しました。 【通学安全推進事業】 ・「魚津市小中学校通学安全プラン」に基づき、魚津市通学安全推進会議を開催するとともに、関連事業の推進に努めました。地域住民には「ご近所見守り推進事業」として活動していただくほか、「ながら見守り連携事業」では、28事業所の協力を得ています。また、小学校の遠距離通学を支援するためスクールバスを運行しました。		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
ICT機器の活用率	%	55.2(小)	55.2	75.0	80.0	85.0	90.0	95.0	100
				86.8	93.5				
		79.2(中)	79.2	97.0	92.0	93.0	94.0	95.0	100
				98.6	100				

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和4年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 学校規模適正化事業	352,040,000	181,504,406	170,535,594	A	教育総務課
2	一般会計	教育委員会の会議及び委員に関する事務	638,000	502,460	135,540	-	教育総務課
3	一般会計	教育委員会事務局一般管理事業	16,549,000	15,653,091	895,909	-	教育総務課
4	一般会計	私学等教育振興事業	1,850,000	1,850,000	0	-	教育総務課
5	一般会計	奨学金貸付事業	7,498,000	5,020,400	2,477,600	-	教育総務課
6	一般会計	小学校維持管理事業	94,360,000	78,879,474	15,480,526	-	教育総務課
7	一般会計	中学校維持管理事業	60,072,000	42,389,144	17,682,856	-	教育総務課
8	一般会計	教育ネットワーク管理事業	25,652,000	25,102,561	549,439	-	教育総務課
9	一般会計	○ 小学校教育振興・情報化事業	51,555,000	49,548,757	2,006,243	A	教育総務課
10	一般会計	○ 中学校教育振興・情報化事業	19,824,000	18,551,604	1,272,396	A	教育総務課
11	一般会計	○ 通学安全推進事業	461,000	383,735	77,265	B	教育総務課
12	一般会計	小学校遠距離通学援助事業	49,765,000	40,765,393	8,999,607	-	教育総務課
13	予算なし	就学事務	0	0	0	-	教育総務課
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			680,264,000	460,151,025	220,112,975		

施策 No.	13	施策 名	学校教育の充実
令和4年度の 評価結果(基本事 業の成果を考 慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述) 新型コロナウイルス感染症拡大を受け、学校現場においては、感染症対策を施しながらその影響緩和に努めました。 【①確かな学力を育む教育の推進】 ◆学習状況については、指標とする県の学力調査において、県平均に対する市平均の割合が、小学校は(R3 100%→R4 98.1%)前年度を下回り、中学校は(R3 96.0%→R4 99.3%)前年度を上回っています。 【②豊かな心を育む教育の推進】 ◆不登校の児童生徒の割合が、前年度と比較して小学校は0.66ポイント、中学校は2.46ポイント増加しています。 ◆1か月間に読んだ本の冊数は、前年度と比べて一人当たり0.1冊増加して8.5冊となっています。 【③健やかな体を育む教育の推進】 ◆けがや病気の件数については、前年度と変わらず7.1人となっています。 ◆学校給食の残食率については、コロナウイルス感染症の影響により、配膳方法・おかわりの仕方等に変更があり、残食量が多くなったため、前年度と比較して1.0ポイント増加しています。 【④教育環境の整備・充実】 ◆小中学校の普通教室の冷房化率は、令和元年6月に100%となっています。		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和4年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述) 【①確かな学力を育む教育の推進】 ＜小学校教育研究事業、中学校教育研究事業＞ ◆「魚津っ子の学び向上委員会」の学力向上部会の活動を継続し、市全体で学力向上への取組を進めました。 ＜特別支援教育推進事業、学習支援員派遣事業＞ ◆特別支援スタディメイトや学習支援員を配置することにより、多様な学びのニーズに対応しました。 ＜英語教育推進事業＞ ◆全小学校への専任ALT配置により、英語に親しむ活動を行い、言葉の壁を超えるスキル向上を行いました。 【②豊かな心を育む教育の推進】 ＜情操教育推進事業＞ ◆いのちの授業の実施により、豊かな心の醸成に努めました。 ＜小学校教育研究事業＞ ◆ふるさと発見バス事業や地場産業体験事業の実施により、地域を学ぶ学習を実現しました。 ◆「魚津っ子の学び向上委員会」の心の教育推進部会の活動を継続し、「ふるさと教育スタンダードプラン」の内容の見直し・改善を進めました。 ＜学校司書配置事業＞ ◆学校司書の配置による図書の整理や読書環境の充実により、児童生徒が書物に触れ合う機会が増え、授業の調べ学習も充実しました。 ＜適応指導教室運営事業＞ ◆市SSWを配置することにより家庭における生活環境の改善も含めた不登校対策に努めました。 【③健やかな体を育む教育の推進】 ＜食育推進事業＞ ◆地場産食材の利用拡大のため、生産者及び関係機関と食材調達の調整を行い、地元の新鮮な食材を多く使用した献立を工夫しました。 【④教育環境の整備・充実】 ＜小中学校情報化事業・教育ネットワーク管理事業＞ ◆児童生徒へタブレット端末を配付し、電子黒板等のICT機器を活用した学習を推進することにより、個別最適化された学習環境を提供しました。		
	3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述) 【①確かな学力を育む教育の推進】 ◆「魚津っ子の学び向上委員会」の取組を推進し、市全体で学力向上の取組を進めます。 ◆個に応じた学習支援の充実のため、学習支援員やスタディメイト等の各種支援員の適切な配置に努めます。 ◆ALTを活用し、英語教育の推進に取り組めます。 【②豊かな心を育む教育の推進】 ◆令和2年度から全面実施された「魚津市ふるさと教育スタンダードプラン」に基づき、関係機関と連携してふるさと教育の推進に取り組めます。 ◆学校、関係機関と連携した指導により、学校復帰や一時登校など改善傾向に向かう児童生徒がいる一方で、不登校傾向の児童生徒が増える傾向にあります。市SSW、市SCが中心となった、早期からの関係機関との組織的な取組により、当該児童生徒への専門的な指導・相談ができるようにします。また、生徒指導協議会と連携し、WEBQU(よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート)の活用・分析を進め、子どもの居場所づくり、不適応児童生徒の早期発見・早期対応を目指します。さらに、発達障害等特別な支援を要する児童生徒に対する情報交換を密にし、切れ目のない支援体制づくりに努めます。 ◆学校図書館のIT化を実施し、調べ学習などで児童生徒が利用しやすい環境を実現します。 【③健やかな体を育む教育の推進】 ◆現在の「第2期食育推進計画」を見直し、令和6年度から計画期間とした「第3期食育推進計画」を策定し、関係機関と連携を図りながら、食育の推進に取り組めます。 【④教育環境の整備・充実】 ◆「小中学校就学援助事業」については、家庭の経済的な理由によらず等しく教育を受けることができるよう支援を行います。加えて、「子どもの貧困」や「ヤングケアラー」の問題については、関係各課、関係機関と連携し、早期に発見し支援につなげられるよう努めます。 ◆魚津市小中学校通学安全プランに基づき、通学路の安全点検を実施するなど、児童生徒の登下校の安全確保に取り組めます。 ◆「魚津っ子の学び向上委員会」が中心となりICT機器を活用した授業づくりに関する研修の充実にも努めます。 ◆児童生徒への効果的な教育活動の充実に向けて、市内小中学校の教職員の勤務実態の把握や部活動の地域移行について研究し、学校職場における働き方改革を進めます。 ◆地域に開かれたコミュニティスクール制度の導入に向けて関係各所と調整を行い、地域での次世代育成の仕組み作りに努めます。 ◆急激に進む少子化に対応する教育のあり方について研究し、住民同士の意見交換会を開催し、教育に対する関心を高めます。		

令和 4 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	未来につなぐまち	政策名	誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり						
施 策 No.	14	施 策 名	生涯学習の推進						
主管課名	生涯学習・スポーツ課								
関係課名	地域協働課、図書館、水族博物館、埋没林博物館								
10年後の 目指す姿	誰もが生涯にわたり身近で気軽に学び、歴史や自然、文化が適切に保存、継承、活用されています。								
施策の現状 及び課題	現 状	・図書館や公民館（コミュニティセンター）において、生涯学習の環境づくりに取り組んでいます。 ・伝統芸能の保存・継承を支援するとともに、文化財の保存・活用に取り組んでいます。 ・博物館を適切に管理するとともに、企画展示や普及教育活動等を推し進め、情報発信を強化しながら博物館の魅力向上に取り組んでいます。							
	課 題	・人間関係や地域のつながりが希薄になる中、明日を担うひとづくりを進めていくためには、生涯学習を積極的に推進していく必要があります。 ・人口減少等を背景に、文化財等の滅失や散逸等の防止、管理のあり方が喫緊の課題となっており、地域社会全体で、その継承に取り組んでいく必要があります。 ・各博物館は経年劣化等が進んでいることから、様々な設備等について補修や改修等が必要です。							
施策を進めるための役割分担	行 政	・誰もが身近で気軽に学習できる環境を整えます。 ・図書館の充実に努めます。 ・文化財や地域資源等を社会全体で保存・活用できる環境の整備に努めます。 ・各博物館の展示・教育普及・調査研究等を充実させるとともに、魅力向上を図ります。							
	市 民 ・ 事 業 所	・生涯学習活動に積極的に取り組みます。 ・文化財等の地域資源を理解し、保存や継承、活用に努めます。 ・本市の歴史や文化、自然を学び、次世代へ引き継ぎます。 ・博物館や図書館を学びや交流の場として活用します。							
目指す姿の実現のための取組 （基本事業）	基本事業①	学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上							
	基本事業②	ふるさとの歴史や文化財の保存・継承・活用							
	基本事業③	博物館の充実							
	基本事業④								
施策の トータルコスト	区 分		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	28 (28)	28 (28)				
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	11 (11)	11 (11)				
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	3 (3)	3 (3)				
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	14 (14)	14 (14)				
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）		千円	609,996	787,107				
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	171,621	393,725				
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	8,004	12,340				
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円	430,371	381,042				
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円						
	C. 施策に携わる正規職員数合計		人	70	72				
	D. 事務事業に要する年間総時間		時間	29,400	29,480				
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）		千円	115,336	114,264					
F. トータルコスト（B+E）		千円	725,332	901,371					
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の		円	15,070	19,718				
	G. 事業費（定義式：B／人口）								
	同 上		円	2,849	2,862				
	H. 人件費（定義式：E／人口）								
同 上		円	17,920	22,580					
I. トータルコスト（定義式：F／人口）									
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	3,923	3,876				
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	40,477	39,919				

基本事業概要シート①

施策 No.	14	施策名	生涯学習の推進
基本事業名	①学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上		
基本事業の目的(意図)	市民の学習ニーズの把握に努め、図書館のサービスを充実しながら、生涯学習情報の提供や生涯学習教室の充実に努め、身近で気軽に学ぶことができる環境づくりを図ります。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	【放課後子ども教室推進事業】 ・公民館において、遊び、伝統芸能、サークル活動を実施し、放課後と土曜日のこどもたちの安全・安心な居場所を確保しました。(計16教室) ・星の杜小学校内の教室を活用し、放課後児童クラブと放課後子ども教室の「一休型」の星の杜放課後子ども教室を実施しました。(令和2年10月開始) 【公民館活動振興事業】 ・各地区の社会教育振興会に委託し、高齢者学級をはじめとする各種公民館教室を開催するとともに、コロナ禍に対応した、従来の地区運動会の代替え事業としてウォークラリーなどの地域住民の交流事業を実施しました。 【生涯学習振興事業】 ・社会教育委員会を年1回(10月25日)開催し、社会教育関連事業への意見等の提言を受けました。提言の概要については、令和4年12月に開催した教育委員会にて「事務の点検及び評価結果」として報告しました。 ・初心者を対象とした生涯学習教室を修了した受講生で作る友の会では、20教室239名が学び続けました。恒例の生涯学習フェスティバルを開催(令和5年3月19日)しました。 【青少年・家庭教育事業】 ・少年補導センターによる補導活動(少年補導委員29名)を警察と協力しながら行うとともに、青少年育成市民会議による青少年の健全育成のための実践活動や市民への普及啓発・広報活動(12月1日研修会実施)を行いました。また、市PTA連合会家庭教育委員会と連携して、子育て講演会や親子学びの実践講習研修会を各園各校などで開催しました。友好親善都市である岡山県井原市との児童交流事業は、コロナ禍の状況を踏まえ、初めてオンライン(8月20日)にて実施しました。 【成年・女性活動振興事業】 ・成年年齢を18歳に引き下げる民法の改正が行われる中、従来の成人式の在り方を検討しつつ、引き続き20歳を対象とする「二十歳のつどい」を、新成人等が参加する実行委員会により開催(令和5年1月8日)しました。 【図書館資料収集保存提供事業】 ・図書や雑誌、視聴覚資料等を収集保存するとともに、市民や利用者に提供しました。令和2年度末からスタートした「うおづ電子図書館」の蔵書は2,835タイトルです。		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
市民一人当たりの図書貸出冊数	冊	6.6	6.7	6.8 5.6	7.0 5.4	7.2	7.4	7.6	7.6
地区公民館活動の利用者総数	人	18,455	7,462	12,800 9,436	18,450 12,232	18,480	18,500	18,500	18,500

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	令和4年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 放課後子ども教室推進事業	1,970,000	1,688,616	281,384	B	地域協働課
2	一般会計	公民館一般管理事業	35,237,000	32,631,671	2,605,329	-	地域協働課
3	一般会計	○ 公民館大規模修繕事業(公民館施設整備事業)	607,703,000	292,679,273	315,023,727	B	地域協働課
4	一般会計	○ 公民館活動振興事業	9,455,000	9,038,881	416,119	A	地域協働課
5	一般会計	○ 生涯学習振興事業	3,171,000	2,859,606	311,394	B	生涯学習・スポーツ課
6	一般会計	成年・女性活動振興事業	1,512,000	1,353,854	158,146	-	生涯学習・スポーツ課
7	一般会計	青少年・家庭教育事業	1,792,000	886,147	905,853	-	生涯学習・スポーツ課
8	一般会計	図書館一般管理事業	36,020,000	33,585,695	2,434,305	-	図書館
9	一般会計	○ 資料収集保存提供事業	14,075,000	13,981,394	93,606	A	図書館
10	一般会計	○ 教養・普及事業	611,000	591,503	19,497	A	図書館
11	一般会計	図書館設備更新事業	4,552,000	4,428,575	123,425	-	図書館
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			716,098,000	393,725,215	322,372,785		

基本事業概要シート②

施策 No.	14	施策名	生涯学習の推進
基本事業名	②ふるさとの歴史や文化財の保存・継承・活用		
基本事業の目的(意図)	魚津市の歴史や文化を調査、検証し、広く市民に紹介しながら、本市の貴重な財産である文化財等について、関係団体と連携しながら保存・継承・活用を図ります。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	【文化財維持管理事業】 ・博物館行政に対する助言や意見を求めて、博物館協議会を開催(令和5年3月3日)しました。 【文化財保存活用事業】 ・指定文化財写真フィルムや『魚津市誌』(昭和43年刊行)のデジタル化を行いました。 ・松倉城跡の魅力などを紹介する山城探訪ツアー(11月20日・19名参加)を行いました。 ・魚津まつりが3年ぶりに開催され、たてもん協力隊事業も規模を縮小しながらも募集(2日間でのべ108名の募集 ※2日目は雨で中止)しました。 ・たてもんの森の定期的な草刈りや枯れ木の捕植、周辺木の伐採等の環境整備事業と親子での草刈りイベント(5月21日・18名参加)を実施しました。また、たてもん祭りのユネスコ無形文化遺産普及啓発事業として、県と高岡市、南砺市とともに、パネルディスカッションやパネル巡回展を開催しました。 ・コロナ禍により地域に伝わる伝統芸能の安定的な開催と保存継承が危ぶまれたため、今後の開催に向けた準備経費等の支援を行いました。 【遺跡調査事業】 ・松倉城跡では国指定に向けた、支城である升方城跡の石積み等の測量調査を実施しました。		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
文化財保存活用事業への年間延べ参加者数	人	1,289	898	900 901	1,290 926	1,310	1,330	1,350	1,400

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和4年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 文化財維持管理事業	2,424,000	1,634,901	789,099	A	生涯学習・スポーツ課
2	一般会計	遺跡調査事業	4,377,000	2,761,232	1,615,768	-	生涯学習・スポーツ課
3	一般会計	○ 文化財保存活用事業	11,883,000	7,943,894	3,939,106	A	生涯学習・スポーツ課
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			18,684,000	12,340,027	6,343,973		

基本事業概要シート③

施策 No.	14	施策名	生涯学習の推進
基本事業名		③博物館の充実	
基本事業の目的(意図)		効果的な施設整備を進めるとともに、博物館の企画や展示を充実させ、積極的な情報発信により、来館者増加に努めながら、体験を重視した普及活動を進め、市民から必要とされる博物館づくりを図ります。	
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)		【歴史民俗博物館事業】 ・歴史民俗資料館の解体工事のため、8月22日から臨時休館としました。休館前には、同資料館の展示や歴史についての解説会(8月11・13日)を行いました。また、同資料館の収蔵品を吉田記念郷土館内や市内収蔵スペースへ移設し、併せて、収蔵品のデータベース化を行いました。 ・6～10月、企画展「魚津城と松倉城」展を吉田記念郷土館にて開催するとともに、小学校6年生を対象に実施している「ふるさと発見バス」にて企画展見学会を実施しました。 【水族館企画展事業】(計2回) ・春に市制70周年企画展「パイ展」、夏に企画展「トンガリ展」を開催しました。 【水族館博物館事業】(計8回) ・コロナ禍に配慮しながら、サポーター活動(4回)、魚津水辺の調査隊活動(4回)を行いました。 【蜃気楼ネットワーク事業】 ・市制70周年事業として蜃気楼交流会を拡充し「蜃気楼フォーラム」を開催しました。 【埋没林博物館教室事業】 ・博物館教室として「作れるかな?蜃気楼」「万華鏡をつくろう」等の講座を開催しました。 【埋没林博物館展示事業】 ・市制70周年記念特別展富山湾のふしぎ魚津の三大奇観「魚津ナチュラルギャラリー23」等の企画展を開催しました。 【ジオパーク普及事業】(再掲) ・「松倉城と砂金ツアー」「スギの王国魚津!未来の洞杉をさがそう」等の講座を開催しました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
博物館入館者総数	人	202, 940	119, 993	126, 000 134, 767	200, 000 184, 399	204, 000	205, 000	207, 000	210, 000

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	令和4年度				担当課
			予算現額(円)	決 算 額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	歴史民俗博物館事業	13,651,000	12,887,576	763,424	-	生涯学習・スポーツ課
2	一般会計	○ 資料館収蔵品移設事業	5,502,000	4,285,661	1,216,339	A	生涯学習・スポーツ課
3	一般会計	博物館収蔵品等デジタル化事業	18,656,000	17,600,000	1,056,000	-	生涯学習・スポーツ課
4	水族館事業特別会計	水族館一般管理事業	163,739,950	160,565,069	3,174,881	-	水族博物館
5	水族館事業特別会計	水族館ホームページ運用事務	123,083	123,083	0	-	水族博物館
6	水族館事業特別会計	○ 水族館施設整備事業	24,545,800	23,456,000	1,089,800	A	水族博物館
7	水族館事業特別会計	○ 水族館企画展事業	1,320,000	129,911	1,190,089	A	水族博物館
8	水族館事業特別会計	○ 水族館博物館事業	4,108,610	3,584,257	524,353	A	水族博物館
9	予算なし	水族館事業特別会計繰出金	113,545,000	97,730,000	15,815,000	-	水族博物館
10	一般会計	○ 蜃気楼ネットワーク事業	1,059,000	884,486	174,514	A	埋没林博物館
11	一般会計	○ 埋没林博物館教室事業	69,000	41,416	27,584	A	埋没林博物館
12	一般会計	○ 埋没林博物館調査研究事業	1,508,000	1,464,487	43,513	A	埋没林博物館
13	一般会計	○ 埋没林博物館展示事業	7,772,000	6,592,620	1,179,380	A	埋没林博物館
14	一般会計	埋没林博物館一般管理費	53,713,300	51,697,460	2,015,840	-	埋没林博物館
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			409,312,743	381,042,026	28,270,717		

施 策 No.	14	施 策 名	生涯学習の推進
令和4年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)			1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述) 【①学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上】 ◆市内各公民館、新川学びの森天神山交流館、新川文化ホール、県民カレッジ新川地区センター(県立みどり野高校内)で生涯学習講座を開催しており、他市に劣らない充実した環境が整っています。 ◆市民一人当たりの図書貸出冊数は、前年度に比べて0.13冊減少し、5.43冊となりました。県内市の平均(令和3年度)は、4.44冊です。 ◆地区公民館の利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底や工夫した事業の実施により、前年度の95,600人から104,274人(8,674人増:令和元年度比60,073人減)となっています。 【③博物館の充実】 ◆埋没林博物館の入館者数は、前年度の19,154人から27,453人(8,299人増:令和元年度比12,206人減)となっています。 ◆歴史民俗博物館の入場者数は、前年度の4,514人から4,075人(439人減:令和元年度比1,906人減)となっています。 ◆水族博物館の入館者数は、前年度の111,099人から152,871人(41,772人増:令和元年度比4,429人減)となっています。コロナ前の入館者数に戻りつつあります。 2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和4年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述) 【①学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上】 <生涯学習振興事業> ◆コロナ禍の影響のため、学びのきっかけづくりとして初心者を対象とした生涯学習教室は開催せず、教室を修了した受講生で作る友の会では活動を継続し、活動の成果発表の場である生涯学習フェスティバルは新川学びの森天神山交流館の賑わい創出事業(「What's学びの森」イベント)と同時開催しました。 <図書館教養・普及事業> ◆図書館では、市制70周年記念シンポジウム「乱歩と魚津幻想」、読書会等各種教室・講座、おはなし会等を延べ154回開催し、延べ1,998人が参加しました。資料や図書等の展示を31回開催しました。 <公民館活動振興事業> ◆地区公民館においてそれぞれの地区の特性を活かした事業(高齢者学級、公民館教室、地域異世代交流)を実施し、地域住民の学習意欲の向上と地域の活性化につながりました。 【②ふるさとの歴史や文化財の保存・継承・活用】 <遺跡調査事業> ◆松倉城跡では、指定候補地の升方城跡の石積み等の測量調査を実施し、国指定に向けた取組を進めました。 <文化財保存活用事業> ◆貴重な史料を後世に遺すために行った『魚津町誌』のデジタル化により、図書館での電子図書館事業で活用されるなど、広く閲覧できるようになりました。 ◆たてもんを将来地元産の木材で製作することを目指し、スギやケヤキ、ヒノキを植樹した「たてもんの森」の定期的草刈りや枯れ木の捕植等の管理や周辺環境整備を、次世代を担う子供たちなど親子で継続して実施し、後世への伝統継承を行いました。 【③博物館の充実】 <孫とお出かけ支援事業> ◆埋没林博物館と水族博物館が、高齢者の外出機会を促進し、世代間交流を通じて家族の絆を深め、地域の文化や歴史、科学や自然への関心を幅広い年齢層に広げることを目的に富山市が主管として実施している「孫とお出かけ支援事業」の連携市に加入しています。コロナ禍により休止していた水族博物館では、繁忙期以外で再開しました。 <歴史民俗博物館管理事業> ◆郷土の豊かな歴史と文化を知り、生活の移り変わりを学ぶ機会として、小学校を対象に実施している「ふるさと発見バス」にて企画展見学会を継続して実施しました。 <水族博物館事業> ◆コロナ禍に配慮しながら、民間企業とのタイアップイベントや調査研究を実施し、生物や自然環境についての理解を深めました。 ◆市制70周年記念事業の一環として「魚津の自然シリーズ ホタルイカ」を発刊しました。 <埋没林博物館博物館教室事業、埋没林博物館調査研究事業、埋没林博物館展示事業> ◆埋没林博物館では、主として魚津市民を対象に、年10回の博物館教室等の講座を実施し、郷土の自然に親しみ、その重要性や意義への理解を深めました。 3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述) 【①学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上】 ◆本市における学習ニーズや教室の在り方等について検討し、市民が参加しやすい学びの環境を整えていきます。 ◆図書館では、市民ニーズに合った資料の充実、図書館や本に関する情報発信(HP、twitter)を行います。また、「うおづ電子図書館」の蔵書を充実させ、ネットによる読書活動の普及に努めます。 ◆公民館活動に地域への郷土愛を高め、地域の活性化を図る事例を学び、地区公民館の利用者増を図っていきます。 ◆公民館のコミュニティセンター化に向けて地域振興会を窓口に引き続き協議を行います。 <地域拠点施設整備事業>(施策1①再掲) ◆魚津市本江地域交流センターの建設事業について、近隣住民に配慮し、協力を得ながら本江公民館の解体工事や外構工事を進めていきます。 ◆松倉地区の拠点施設整備について、その規模や機能を松倉自治振興会と協議していきます。 ◆大町、上中島地区の小学校跡地の利活用に関して、引き続き、地域の関係者と協議していきます。 【②ふるさとの歴史や文化財の保存・継承・活用】 ◆市民が文化財への関心と理解を深め、地域に愛着や愛着や誇りを高め、さらには観光資源としての魅力を向上させ、交流人口の拡大や市内の賑わい創出につなげるために、企画展の開催や文化財の周辺整備、PR事業等を実施し、本市における未来へ引き継ぐ地域遺産(文化財等)の保存、継承、活用に努めます。 ◆松倉城跡の国指定に向けては、指定範囲における土地の境界や相続に係る諸課題等への取組みを、地元と連携して進めます。 ◆「たてもんの森」を見守り、育てながら、次世代への文化の継承と海と山をつなぐ文化を育む取組みを引き続き行います。 【③博物館の充実】 ◆「孫とお出かけ支援事業」については、その効果と影響について調査・研究を行い、事業への対応を検討します。 ◆埋没林博物館では、歴史の動画等のコンテンツを充実させるとともに、InstagramやFacebook等も活用し、情報発信を強化していきます。また、カフェや木育キッズスペース等を活用した事業により、入館者が無料エリアからさらに有料エリアへ進むよう努めます。 ◆水族博物館では、従来の見せるイベントに加え、を飼育員とのふれあい・対話型イベントを開催することで、解説パネルでは伝えられないタイムリーな情報を伝え、水族館の魅力の向上を図ります。また、より効率的で効果的な運営の在り方についても検討を進めていきます。 ◆社会教育施設等を計画的に効率的に維持運営していくためにも、個別施設の長寿命化計画に基づいて長寿命化を図っていきます。

令和 4 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	未来につなぐまち	政策名	誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり						
施 策 No.	15	施 策 名	芸術文化・スポーツの振興						
主管課名	生涯学習・スポーツ課								
関係課名	地域協働課、図書館、水族博物館、埋没林博物館								
10年後の 目指す姿	多くの市民が芸術文化やスポーツに取り組み、まちがうるおいと活力に満ち溢れています。								
施策の現状 及び課題	現 状	・文化団体の支援や市民文化祭、市美術展、音楽のまちづくり推進事業等を活性化することにより、芸術文化活動の推進に取り組んでいます。 ・各種競技における底辺の拡大と競技力の向上を図るため、選手や指導者の育成に取り組んでいます。							
	課 題	・芸術・文化活動に携わる市民の固定化、高齢化の傾向があり、既存事業のほか、新たな活動や若い世代を支援し、芸術文化に直接触れる機会の充実が求められています。 ・スポーツの競技力向上のためには、地域における指導者の発掘、育成が求められるとともに、クラブ組織の育成やトップアスリートによるスポーツ教室の開催等も必要です。							
施策を進めるための役割分担	行 政	・新川文化ホールや他の公共施設等を活用して、子どもの頃から優れた芸術文化に触れる機会を増やします。 ・文化関係団体と連携を図りながら、新たな活動や若い世代を応援します。 ・スポーツ指導者の資質向上と競技力の向上の取り組みを支援します。 ・選手層の底辺拡大とスポーツ指導者の資質、競技力の向上の取組を支援します。							
	市 民 ・ 事 業 所	・積極的に芸術文化活動に参加します。 ・積極的にスポーツ活動に参加します。							
目指す姿の実現のための取組 (基本事業)	基本事業①	芸術文化活動の推進							
	基本事業②	スポーツ活動の推進							
	基本事業③								
	基本事業④								
施策の トータルコスト	区 分		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	8 (8)	7 (7)				
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	4 (4)	4 (4)				
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	4 (4)	3 (3)				
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本						
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)		千円	502,799	325,906				
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	115,102	91,153				
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	387,697	234,753				
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円						
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円						
	C. 施策に携わる正規職員数合計		人	23	21				
	D. 事務事業に要する年間総時間		時間	7,200	5,300				
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)		千円	28,246	20,543					
F. トータルコスト (B+E)		千円	531,045	346,449					
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の		円	12,422	8,164				
	G. 事業費 (定義式 : B／人口)								
	同 上		円	698	515				
	H. 人件費 (定義式 : E／人口)								
	同 上		円	13,120	8,679				
I. トータルコスト (定義式 : F／人口)									
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	3,923	3,876				
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	40,477	39,919				

基本事業概要シート①

施策 No.	15	施策名	芸術文化・スポーツの振興
基本事業名	①芸術文化活動の推進		
基本事業の目的(意図)	市民へこころのゆとりと潤いをもたらすため、多様な芸術、文化、音楽活動等を積極的に支援し、幅広い芸術文化活動の振興を図ります。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	【交流館活性化事業】 ・令和4年4月から、一般社団法人『にいかわ学びの森みらい会議』へ運営を引き継ぎました。施設の賑わいを創り出すWhat's学びの森(10月1日)や学びの森音楽祭としての早春音楽だより(令和5年2月19日)を開催しました。 【新川文化ホール事業】 ・小学5・6年生を対象にした舞台芸術鑑賞会を3年ぶりに開催(6月15日)し、中学2年生の鑑賞会も実施(10月31日)しました。 【芸術文化振興事業】 ・芸術文化団体などへの補助金交付を通じて、芸術文化活動を支援し恒例の市民文化祭(10月22日・23日)や市美術展(11月3日～7日)を開催しました。また、4年に1度の2022 ART/X/TOYAMAを開催(4月30日～5月8日)しました。 【音楽のまちづくり事業】 ・出前コンサートや市民のためのクラシック講座、小中学校での音楽指導を行いました。		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
新川文化ホール等で開催される企画事業の延べ入場者数	人	29,612	11,151	29,000 14,518	29,600 29,840	29,800	29,900	30,000	30,000
市美術展や市民文化祭の出演者及び出展者の延べ人数	人	758	494	530 624	760 549	768	770	770	780

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	令和4年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	交流館活性化事業	6,371,420	6,353,099	18,321	-	生涯学習・スポーツ課
2	一般会計	○ 音楽のまちづくり推進事業	2,621,000	2,621,000	0	B	生涯学習・スポーツ課
3	一般会計	○ 新川文化ホール事業	100,358,000	80,432,802	19,925,198	A	生涯学習・スポーツ課
4	一般会計	○ 芸術文化振興事業	2,143,900	1,746,594	397,306	A	生涯学習・スポーツ課
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			111,494,320	91,153,495	20,340,825		

基本事業概要シート②

施策 No.	15	施策 名	芸術文化・スポーツの振興
基本事業名		②スポーツ活動の推進	
基本事業の目的(意図)		選手層の底辺拡大と指導者の育成に努め、国際的に活躍する選手の輩出を目指すとともに、育成した子ども達が将来、地域スポーツの指導者や選手強化スタッフとしての一役を担うという、好循環の創出を目指します。	
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)		【スポーツ選手等強化育成事業】 ・市出身のプロ野球選手である石川歩投手による野球教室(12月28日)を行いました。 ・スポーツで市民に感動を与えた選手を表彰する桑山スポーツ賞を、1個人1団体に授与しました(令和5年1月10日) ・ジュニア育成や優秀選手派遣に対する助成を通じて、選手強化に取り組みました。 【スポーツコミッション事業】 ・スポーツ団体や地域、経済、産業、観光など様々な団体等が参画し、スポーツを通じた地域活性化を目指すうおづスポーツコミッションにより、数多くの市制70周年記念事業を開催しました。 ・魚津しんきろうマラソン(4月24日)は、参加の人数制限をしながら、2,671名のエントリーを受けて開催しました。 ・全日本大学女子野球選手権大会(8月26日～30日)は、3年ぶりに15チーム(16大学)の参加を得て開催しました。 ・市民体育大会は、夏季競技は18種目を実施、冬季競技は、スキー競技を実施しました。県民体育大会等に出場する選手に対して大会派遣経費の一部補助を実施しました。 【体育施設管理費】 ・市民がいつでも気軽にスポーツやレクリエーションに親しむことができる拠点として、ありそドームや室内温水プールをはじめとする市体育施設を指定管理により管理運営しました(指定管理契約期間：令和3年度～6年度まで)。 ・天候に関わらず子供のあそび場となるありそドームのキッズベースを改修しました。 ・スポーツ施設長寿命化計画を改訂し、計画的な施設修繕を実施しました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
ありそドームや桃山運動公園等、市内の体育施設の延べ利用者数	人	535,690	255,365	323,000 247,713	528,000 353,243	529,000	530,000	530,000	530,000
スポーツ競技団体に登録している延べ人数	人	4,080	4,008	4,060 3,874	4,045 3,911	4,030	4,015	4,000	4,000

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	令和4年度				担当課
			予算現額(円)	決 算 額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 体育施設管理事務	255,762,000	216,026,603	39,735,397	A	生涯学習・スポーツ課
2	一般会計	○ スポーツ選手等強化育成事業	4,274,000	3,690,376	583,624	A	生涯学習・スポーツ課
3	一般会計	○ スポーツコミッション事業	31,024,000	15,035,997	15,988,003	A	生涯学習・スポーツ課
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			291,060,000	234,752,976	56,307,024		

施策 No.	15	施策 名	芸術文化・スポーツの振興
令和4年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)			1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述) 【①芸術文化活動の推進】 ◆新川文化ホールや新川学びの森天神山交流館の自主事業の参加者は、前年度の14,518人から29,840人(15,322人増:令和元年度比228人増)となっています。 ◆本市には、新川文化ホールと新川学びの森天神山交流館の文化施設があり、その中で行われている文化芸術活動は、近隣他市、同規模市と比較しても充実しています。 【②スポーツ活動の推進】 ◆スポーツ少年団の加入率は、前年度の27.6%から27.7%(0.1ポイント増)となっています。 ◆スポーツ大会への参加者数は、前年度の10,174人から21,840人(11,666人増)となっています。 2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和4年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述) 【①芸術文化活動の推進】 ＜交流館活性化事業＞ ◆賑わい創出事業や学びの森音楽祭事業として各種イベントを開催する中で、生涯学習の推進や芸術文化の振興など、長年に亘り育んできた文化の芽を継承する形で、市民が気軽に音楽に親しめる環境を作りだすなど、豊かなまちづくりに向けた取組を展開しました。 ＜新川文化ホール管理事業＞ ◆指定管理者は施設の維持管理、利用料金徴収業務、委託イベントの開催、自主企画事業等を実施しました。 ＜芸術文化振興事業＞ ◆魚津市民文化祭や魚津市美術展を開催し、芸術文化の振興に努めました。 ◆文化芸術団体の活動助成や、新川文化ホール展示ホール及びミラージュギャラリーにおける市美協会員展の開催支援は、市民の芸術文化活動の充実に結び付きました。 【②スポーツ活動の推進】 ◆本市のボッチャサポーターの増加を図るため、児童への体験会や地域住民への普及活動を実施し、競技のPRや普及に努めました。 ＜スポーツ選手等強化育成事業＞ ◆パナソニック(株)スポーツ事業センター(現 パナソニックスポーツ(株))との連携協定に伴うクリニックを開催し、スポーツ少年団や中学・高校部活動の競技レベルの向上に努めました。 ◆プロ野球選手の石川歩投手による野球教室では、スポーツ少年団未所属の児童への体験会を実施し、競技人口の拡大に取り組みました。 ＜市民体育大会等開催支援事業＞ ◆「うおづスポーツコミッション」では、スポーツ資源を活用したイベントを観光や産業等の地域資源に結び付け、地域活性化を図る道筋を示しました。 3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述) 【①芸術文化活動の推進】 ◆新川学びの森天神山交流館では、新たな利活用事業者や事業運営団体等と連携し、引き続き、施設や周辺地域の活性化を図ります。 ◆新川文化ホールや新川学びの森天神山交流館で開催するコンサートや企画展について、指定管理者や事業運営団体と協議し、幅広い分野の魅力ある企画事業をバランスよく開催しながら、来館者の増加につながるよう工夫します。 ◆文化施設等を計画的で効率的に維持運営していくためにも、個別施設計画に基づき、長寿命化を図っていきます。 【②スポーツ活動の推進】 ◆市ゆかりの選手の応援活動や競技の普及活動を通じての国際交流活動を行っていきます。 ◆関係団体と連携を図りながら、小中学生の競技人口の拡大と選手の競技力向上に向けて継続的に取り組みます。 ◆トップアスリート等から直接指導を受けるクリニックを充実させ、子どもたちを中心とする選手の競技力向上や指導者育成の支援を引き続き実施します。 ◆幅広い団体が連携したスポーツコミッション組織により、スポーツを通じた地域活性化を図ります。 ◆スポーツ施設の長寿命化計画は随時見直しを行いながら、計画的で効率的な維持管理に努めます。 ◆部活動の地域移行について、運動部・文化部それぞれの関係団体等と連携して進めます。

令和4年度 決算の状況(水族館特別会計含む)

	R3決算額(円)	R4決算額(円)	増減額	対前年比	
確かな学力を育む教育の推進	98,325,742	87,346,415	△ 10,979,327	88.8%	増 プログラミング教育推進事業 減 小中学校研究事業
豊かな心を育む教育の推進	13,327,292	16,309,020	2,981,728	122.4%	増 適応指導教室運営事業 社会に学ぶ14歳の挑戦事業
健やかな体を育む教育の推進	129,872,909	207,891,429	78,018,520	160.1%	増 学校給食運営事業 学校給食施設維持管理事業
教育環境の整備・充実	265,761,692	460,151,025	194,389,333	173.1%	増 教育委員会事務局一般管理事業 私学等教育振興事業
学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上	171,621,044	393,725,215	222,104,171	229.4%	増 公民館大規模修繕事業(公民館施設整備事業)
ふるさとの歴史や文化財の保存・継承・活用	8,003,711	12,340,027	4,336,316	154.2%	増 文化財維持管理事業 文化財保存事業
博物館の充実	430,370,535	381,042,026	△ 49,328,509	88.5%	増 歴史民俗博物館事業 資料収蔵品移設事業 博物館収蔵品等デジタル化事業 減 水族館施設整備事業 水族館事業特別会計繰出金
芸術文化活動の推進	115,101,535	91,153,495	△ 23,948,040	79.2%	増 交流館活性化事業 新川文化ホール事業 減 新川学びの森天神山交流館運営事業
スポーツ活動の推進	387,696,961	234,752,976	△ 152,943,985	60.6%	増 スポーツコミッション事業 減 体育施設管理業務 東京オリンピック・パラリンピック関連事業
	1,620,081,421	1,884,711,628	264,630,207		